



echo[®]
smartpen

ユーザー ガイド



著作権と商標

LIVESCRIBE (ライブスクリプト)、ECHO (エコー)、PULSE (パルス)、NEVER MISS AWORD (絶対に、聞き逃さない) は、Livescribe 社の商標です。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。Copyright © 2007-2015. All rights reserved.

<http://www.livescribe.com/>



重要 Livescribe 社製品を使用する前に、製品に付属するエンドユーザー使用許諾契約をお読み下さい。Livescribe 社の製品またはソフトウェアを利用した場合、エンドユーザーライセンス使用許諾契約の規約に同意したものとみなします。正規以外の充電器やインクカートリッジを使用した場合は、スマートペンを破損する可能性があり、スマートペンの保証が受けられなくなります。

目次

このリリースについて	7
ヘルプのご利用について	8
カスタマーサービス 米国Livescribe社	9
カスタマーサービスのためのデータの保存	9
Livescribe 製品の返品	10
Livescribe 社から直接購入した製品について	10
サードパーティから購入した製品について	10
Echo スマートペン ユーザー ガイド	11
スマートペンについて	12
スマートペンの紹介	12
専用ノート (Livescribe ドットペーパー) について	12
スマートペンの起動	12
エコー・スマートペンの充電	13
パルス・スマートペンの充電	14
専用替芯 (インクカートリッジ) またはスタイルスの交換	15
3D録音ヘッドセットの使用	16
エコー・デスクトップを使用したスマートペンの名前の変更	17
反応しないスマートペンの再起動	17
書き込み、録音、再生の基本操作	19
スマートペンを使用したメモの書き込みと音声の録音	19
メモの書き込みのみ (音声の録音なし)	19
メモの書き込みと音声の録音	19
音声の録音のみ (メモの書き込みなし)	20
音声録音後のメモの注釈づけ	20
バッテリー残量の確認	21
スマートペン・ソフトウェアのアップデートのインストール	22
スマートペン・アプリの使用	24
スマートペン・アプリについて	24
起動ライン (ショートカット・キー) を使用したアプリの起動	24
ナビプラスを使用したアプリの起動	25
ホームボタンを使用した現在実行中のアプリの終了	26
タップ・コマンドについて	26

クイック・コマンドの使用.....	27
スマートペンのディスプレイの表示について.....	28
手書き文字認識のヒント.....	28
テキスト表示のヒント.....	29
ナビプラスについて.....	29
フリックとスクラブの使用.....	32
ホームボタンのダブルタップへのコマンド割り当て.....	33
ショートカットボタンの使用.....	34
スマートペンを使用した音声録音.....	36
録音ボタンを使用した録音開始方法.....	36
スマートペンの電源ボタンを使用した録音の開始方法.....	36
ナビプラスを使用した録音開始方法.....	37
録音の停止.....	37
録音の一時停止と再開.....	38
他のアプリの実行中に録音を続ける方法.....	38
ペーパーレス・セッションの録音(スマートペン本体のみを使用した録音).....	39
録音中の音声ブックマークの追加.....	40
スマートペンからの音声録音の削除.....	40
オーディオ録音設定を設定する.....	43
スマートペンの音声の再生.....	46
メモのタップによるセッションの再生.....	46
再生ボタンを使用したセッションの再生.....	46
クイック・コマンドを使用したセッションの再生.....	47
ナビプラスを使用したセッションの再生.....	48
音声再生の停止.....	49
音声再生の一時停止と再開.....	49
音声再生のコントロール.....	50
再生中の音声ブックマークの設定.....	50
ナビプラスを使用した音声の再生.....	51
ペーパーリプレイのパスワードを使用した音声録音の保護.....	52
オーディオ再生設定を設定する.....	54
計算機能の実行.....	55
計算機能クイック・コマンドの使用.....	55
計算キーの使用.....	56
ピアノの使用.....	60
ナビプラスからのピアノの起動.....	60

翻訳デモの使用	64
翻訳デモの単語リスト	64
設定メニューの使用	65
設定メニューの概要	65
設定メニューを使用したスマートペンの自動オフ時刻の設定	66
設定メニューを使用したスマートペン名称の確認	67
設定メニューを使用したメニュー音声の有効化または無効化	67
日付と時刻の設定	68
日付の設定	68
時刻の設定	69
スマートペンのディスプレイ設定	71
画面の明るさを設定する	71
画面の向きを設定する	71
スクロール速度を設定する	72
スマートペンの言語の変更	73
設定メニューを使用した言語の変更	73
専用ノートの管理	74
専用ノートの使用について	74
専用ノートのアーカイブ	74
専用ノートの名称について	75
専用ドットペーパー製品の使用	77
ステイッキーノートについて	77
サウンドステッカー	78
スマートペンのメンテナンスと安全性について	82
スマートペンのメンテナンス	82
静電気放電 (ESD) の減少方法	83
安全性について	84
警告	84
スマートペンの内蔵メモリーの管理	87
storage ボタンを使用したスマートペンの内蔵メモリーの確認	87
クイック・コマンドを使用したスマートペンの内蔵メモリーの確認	87
スマートペンからの音声録音データの削除	88
ナビプラスを使用したスマートペンからの音声録音データの削除	89
クイック・コマンドによる直前の音声録音データの削除	90
スマートペンの保証とコンプライアンス	91
Warranty	91

用語集.....	95
----------	----

このリリースについて

Livescribe 社のプラットフォーム製品に関するこのリリースは、新しい機能、機能拡張、問題点の修正、ユーザビリティの改善などを含みます。

このリリースのバージョン番号は、下記の通りです。

- Smartpen ファームウェア Version 2.9.9 以降
- エコー・デスクトップ Windows 版、Version 3.0
- Echo Desktop for Mac、Version 3.0

ヘルプのご利用について

Livescribe 社は、Livescribe 社のプラットフォーム製品に関する詳細情報を、いくつかの方法で提供しており、必要なときはより詳細なサポートを利用することができます。

Livescribe 社のサポートページでは、いくつかの方法で、スマートペンやその他の Livescribe 社製品に関する質問の回答を得ることができます (英語のみ)。

Livescribe サポートページを開くには、

- ウェブ・ブラウザーから、www.livescribe.com/support を入力するか、
- エコー・デスクトップ内で、ヘルプメニューに移動します。

www.livescribe.com/releasenotes にて、すべての Livescribe 社製品に関するリリースノートを確認することができます。

Livescribe サポートサイトから、Livescribe Knowledge Base を検索・閲覧し、質問の回答を見つけることができます。Livescribe はナレッジベースを定期的に更新しているので、ヘルプが必要なときはそこをチェックしてください。

カスタマーサービス 米国LIVESCRIBE社

サポートページを利用しても質問の回答が見つからなかった場合は、直接 Livescribe社のカスタマーサービスまで問い合わせて下さい。カスタマーサービスへの問い合わせには、下記の方法があります。

- www.livescribe.com/supportを開き、カスタマーサービスチケットを記入し、送信します。
- カスタマーサービスのメールアドレス CS@livescribe.com にメールを送信します。
- カスタマーサービスに電話します。電話番号については、カスタマー サービス連絡先情報 www.livescribe.com/contact を参照してください。

カスタマーサービスのためのデータの保存

エコー・デスクトップ製品に問題が生じた場合は、カスタマーサービスを受けるために、ご利用のコンピュータからデータを収集する必要があります。

1. エコー・デスクトップ Windows版 の場合は、ヘルプ > カスタマーサービスのためにデータを保存を選択します。エコー・デスクトップ Mac版 の場合は、キーボードのコントロールキーを押しながら、ツール > カスタマーサポート > デバッグログを収集を選択します。
2. データをコンピューターに保存し、カスタマーサービスから要請された場合に送信できるようにします。

LIVESCRIBE 製品の返品

Livescribe smartpen または他の Livescribe 製品を返却する必要がある場合は、次の手順に従ってください。

LIVESCRIBE 社から直接購入した製品について

Livescribe 社から直接購入した製品には、払い戻し要件となる下記の返品保証期間があります。この返品保証期間を過ぎた場合は、返品や払い戻しはできません。

- ハードウェア 30 日
- アクセサリー 30 日

返品保証期間内に返送された製品は、全額から配送費用を差し引いた分が払い戻されます。お客様は、RMA 番号 (Returned Material Authorization: 収品承認番号) を得るために、カスタマーサービスに問い合わせる必要があります。製品の購入時の配送費用、及び返品にかかる配送費用は、お客様のご負担となります。

返品する製品は、元々入っていたすべての内容物とパッケージとともに、新品同様の状態で返品する必要があります。アイテムが受領・検品された後に返金が行われます。

サードパーティから購入した製品について

サードパーティ製品が原因でソフトウェアまたは製品に不具合が生じたと考えられる場合は、そのサードパーティ製品のメーカー保証について、製造元へ直接問い合わせて下さい。Livescribe社のウェブサイトを通して販売されている製品のうち、Livescribe社のブランド・ネームが付いていない製品については、その製品に付属する規約及び条件に基づき、その製品の製造元のみがサービスとサポートを提供しています。サードパーティ製ソフトウェアまたは製品は、Livescribe 社の保証には含まれません。

ECHO スマートペン ユーザー ガイド

スマートペンについて

Livescribe スマートペンは、聞いたり書いたりしたことすべてキャプチャできるペンの形をした先進のペーパーベース コンピューターです。

スマートペンの紹介

Livescribe社のスマートペンは、音声とメモをシンクロ 同期 するので、ぜったいに、聞き逃すことはありません。メモをタップするだけで、スマートペンはその瞬間に録音したことを再生します。

スマートペンは、音声と視覚によるフィードバック、高性能の処理能力、大容量の内蔵メモリーを備えています。また、各種の構成パートとテクノロジーを統合すると共に、すべての構成パート間の相互作用を支えるファームウェア、ソフトウェア、アプリ ペーパリプレイなど を使用します。これにより、内蔵式の手書き文字認識など、さまざまな機能を実現しています。

スマートペンを起動し、専用ノートにメモを取り始めると、書き込んだメモがスマートペンに取り込まれ、保存されます。書き込んだ文字や絵を取り込むために、スマートペンは内蔵式の赤外線カメラを使用しています。これにより、書き込みと同時にペン先が専用ノートの上を移動するのに従い、特殊なドットパターンのデジタル・スナップショットが記録されます。

ペーパリプレイ・アプリを使用して音声が録音されると、録音した音声とメモがリンクされます。その後にこのノートをタップすると、スマートペンはタップされた位置を特定し、その位置にリンクされているオーディオを再生します。

専用ノート (LIVESCRIBE ドットペーパー) について

スマートペンは、ペン先の動きを読み取るために、マイクロ・ドットが印刷された特殊な紙を使用します。Livescribeはスマートペンのためのノートブック、ジャーナル、フリップ メモ帳、およびその他の製品を販売しています。

スマートペンの起動

スマートペンを使用するには、最初に電源をオンにします。書き込んだメモを保存し、音声の録音や再生を行うには、電源をオンにする必要があります。

1. 電源 ボタンを押し、スマートペンを起動します。

すでにエコー・デスクトップを使用してスマートペンの名前を付けていれば、電源をオンにするとディスプレイにスマートペンの名前が表示されます。



スマートペンを起動すると、ディスプレイに**Livescribe**という文字が表示され、次に、**Starting...** という文字が表示されます。起動プロセスが完了した後は、ディスプレイには時刻が表示されます。

2. 初めてスマートペンを使用するときは、スマートペンに現在の時刻と日付を設定します。
3. スマートペンの使用が終わったら、電源ボタンを再度押して電源を切ります。

エコー・スマートペンの充電

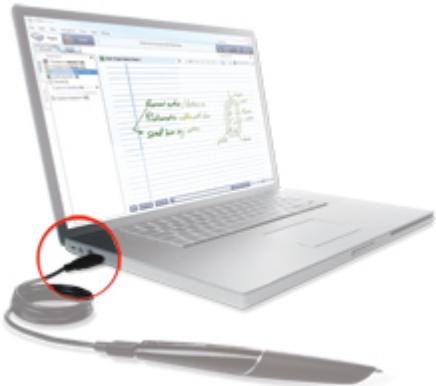
エコー・スマートペンの USB ポートは、ペンの頭の部分の、オーディオジャックの隣にあります。USB ポートは、標準マイクロ USB コネクターで、標準の USB 充電ケーブルと互換性があります。下記の手順に従って、スマートペンを充電します。

プラグと点滅するバッテリーのサインは、充電の必要があることを示しています。



1. エコー・スマートペンを充電する前に、<http://www.livescribe.com/install>からエコー・デスクトップの管理ソフトをダウンロードし、コンピュータにインストールします。学研のホームページ <http://pen.gakken.jp/> からもダウンロードできます。
2. マイクロ USB ケーブルをコンピュータの USB ポートに差し込み、ケーブルのもう一方の端をスマートペンに差し込みます。

また、ユニバーサル USB 充電アダプターを使用して、コンセントから直接充電することもできます。



充電時は、バッテリーと稲妻のシンボルがディスプレイに表示されます。

フル充電までには、最大 2 時間 30 分かかります。



パルス・スマートペンの充電

パルス・スマートペンの USBコネクターは、ペンの側面にあります。コネクターは、ライブスクライプ USB 充電クレードルに適合するように設計されています。下記の手順に従って、スマートペンを充電します。



ヒント プラグと点滅するバッテリーのサインは、充電の必要があることを示しています。



1. パルス・スマートペンを充電する前に、<http://www.livescribe.com/install>からエコー・デスクトップの管理ソフトをダウンロードし、コンピュータにインストールします。学研のホームページ <http://pen.gakken.jp/> からもダウンロードできます。
2. モバイル充電クレードルの USBケーブルをコンピュータの USB ポートに接続します。コンピュータの電源が入っていれば、スマートペンは、コンピュータの USB ポートから直接充電します。USB の接続部 (パルス・スマートペンの側面にあります) は、ライブスクライプ USB モバイル充電クレードルに適合して接続するよう設計されています。

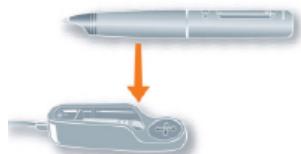
また、Pro Charging Cradle または、ユニバーサル USB 充電アダプターを使用して、コンセントから直接充電することもできます。



3. パルス・スマートペンを、USB モバイル充電クレードルに置きます。

充電時は、バッテリーと稻妻のシンボルがディスプレイに表示されます。

フル充電までには、最大 2 時間 30 分かかります。

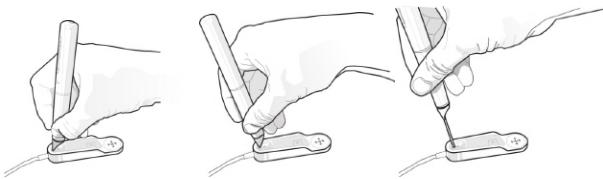


専用替芯 (インクカートリッジ) またはスタイラスの交換

専用替芯 (インクカートリッジ) の交換は、使い終わったカートリッジを指で引き抜いて、新しいカートリッジを挿入するだけです。パルス・スマートペンと USB モバイル充電クレードルがあれば、次の手順で、カートリッジの交換にクレードルを使用することができます。

1. スマートペンのペン先を、インクカートリッジ取り出し用リングに挿入します。
2. スマートペンを傾け、インクカートリッジ取り出し用リングに対してしっかりと立て掛けると、スマートペンが持ち上がり、リングから離れます。
3. スマートペンがクレードルから安全に離れ、持ち上がります。インクカートリッジを所定の位置に保持するスマートペン内部のマグネットから、インクカートリッジが分離します。
4. スマートペンに新しいインクカートリッジを取り付けます。

スマートペンを使用する前に、必ず、インクカートリッジのペン先から、保護用のプラスチック・コーティングを除去して下さい。乾燥からインクを守るために、新品のインクカートリッジは、プラスチック・コーティングされていることがあります。



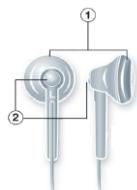
専用ノートに書き込みの跡をつけずにスマートペンを使用したい場合は、Livescribe 社のウェブ・ストアからスタイラス（先のとがった棒状のペン）を購入して下さい。スタイラスを挿入するには、前述のインクカートリッジの交換方法のようにしてスタイラスを挿入します。

3D録音ヘッドセットの使用

スマートペンを使用して、音声を録音することができます。録音は、スマートペンの内蔵マイクか、3D録音ヘッドセット マイク付き専用ヘッドセット のいずれかで行います。

スマートペンの内蔵マイクは、会議室のような比較的狭い録音環境でのモノラル録音用に設計されています。より広い場所で録音するときは、3D録音ヘッドセットの使用を推奨します。3D録音ヘッドセットは、左右のイヤホンにマイクが組み込まれています。左右のイヤホンのデュアル・マイクがバイノーラル録音を実現し、空間オーディオ環境を正確に再現します。

1. 左右のスピーカー
2. 左右のマイク



バイノーラル録音は特殊なステレオ録音で、左右のイヤホンにそれぞれ配置された、合計 2 つのマイクを使用します。バイノーラル録音のマイクは、人間の耳に非常に近い音声録音を可能にするので、最も正確な空間音質を実現します。バイノーラル録音を再生すると、まるで実際に録音したその場にいるかのように音が聴こえます。

音声を録音したら、ステレオイヤホンを使用して、バイノーラル効果（両耳効果）を再生することができます。また、どんな種類のヘッドホンやスピーカーでも、普通のステレオ録音としてバイノーラル効果を再生することができます。

パルス・スマートペンには専用ジャック付きの3D録音ヘッドセットが必要です。これは、バイノーラル録音のために必要です。もし再生のためだけに 3.5 mm ステレオ・

ヘッドセットを使用したい場合は、標準的な 2.5 mm から 3.5 mm アダプターを使用して、3.5 mm ヘッドセットをスマートペンに接続します。

エコー・スマートペンの場合は、再生に標準的な 3.5 mm ステレオ・ヘッドセットを使用することができます。バイノーラル録音には、Livescribe社製 3.5 mm 3D録音ヘッドセットマイク付き専用ヘッドセットを使用する必要があります。Livescribe社製 3.5 mm 3D録音ヘッドセットは、Livescribe社の Online ストアから個別に購入することができます。



ヒント 次の図に示すように、イヤホンを両耳に着けなくても、首に巻くことでバイノーラル録音を行うことができます。また、"L" と書かれた方を左耳側に、"R" と書かれた方を右耳側につけていることを確認して下さい。



注 耳の位置を模倣するためには、両方のイヤフォンを 15~20 cm くらい離してください。

エコー・デスクトップを使用したスマートペンの名前の変更

スマートペンの名前は初期設定されています。エコー・デスクトップを使用して、他のスマートペンと区別できるよう、スマートペンの名前を変更することができます。

1. エコー・デスクトップをインストールし、起動します。
2. 名前を変更するスマートペンをコンピュータに接続します。
3. 名前を変更するスマートペンが選択状態でなければ、スマートペン・セレクターのプルダウンメニューを使用して、そのスマートペンを選択します。
4. ツール > スマートペン > **名前を変更** を選択します。
5. 指示に従って、スマートペンの名前をタイプし、OK をクリックします。

反応しないスマートペンの再起動

もしスマートペンが反応しなければ、スマートペンを再起動します。

1. 最低 5 分間は、充電クレードル (パルス・スマートペンの場合) かマイクロ USB ケーブル (エコー・スマートペンの場合) を使用して、スマートペンを充電します。
2. 5分間充電してもスマートペンが反応しない場合は、電源ボタンを 10秒間押し続けて再起動します。

書き込み、録音、再生の基本操作

スマートペンには、多くの機能が備わっています。主な機能の1つは、書き込んだメモを取り込んで音声を録音することです。

スマートペンを使用したメモの書き込みと音声の録音

スマートペンを起動すると、いつでも、専用ノートに書き込んだ文字や絵を取り込むことができます。

スマートペンは、メモをデジタル化して取り込み、保存します。その後、エコー・デスクトップを使用して、メモをコンピュータに共有したり、eメールで共有したりすることができます。メモを取るときに音声を同時に録音する必要がなければ、スマートペンを起動し専用ノートに書き込みを始めるだけです。

メモを取りながら音声を録音するには、ペーパーリプレイというスマートペン・アプリを使用します。ペーパーリプレイを使用することで、スマートペンは、音声を録音し、音声と書き込んだメモとをリンクします。その後で、いずれかのメモをタップすると、そのメモを書いた瞬間から、録音された音声を聞くことができます。



重要 スマートペンはオーディオ録音の名前を作成日時に基づいて付けるので、スマートペンに正しい日時を設定することが重要です。

メモの書き込みのみ(音声の録音なし)

スマートペンの電源をオンにして、専用ノート、ジャーナル、フリップノートなどに書き込みを開始します。電源がオンになっている間、スマートペンは手書きの文字や絵を取り込みます。スマートペンをコンピューターにドッキングすると、ノートが Livescribe デスクトップに転送されます。

メモの書き込みと音声の録音

1. スマートペンの電源をオンにして、専用ノートのページに印刷された **Record** ボタン をタップすると、ペーパーリプレイが起動します。
ペーパーリプレイは、音声の録音を開始します。
2. 専用ノートへの書き込みを開始します。

3. メモの書き込みと音声の録音が終わったら、専用ノート (Livescribe ドットペーパー) に印刷された **Stop** ボタン  をタップします。
4. 録音したオーディオを再生するには、手書きノートをタップします。

音声の録音のみ (メモの書き込みなし)

メモの取り込みをせず、音声録音だけのデジタル・レコーダーのように、スマートペンを使用することができます。このような録音はペーパーレスセッションとも呼ばれます。

クイック録音の利用

1. **クイック録音機能**を使用します。録音が開始されたことがディスプレイに表示されるまで、およそ 5 秒間、スマートペンの電源ボタンを押し続けます。
録音開始のサインが表示されるまでは、スマートペンの電源がオフのように見えます。
2. 音声の録音が終わったら、専用ノート上の **Stop** ボタンをタップします。このスタッツ内に Livescribe ノートブックがあります。

RECORD ボタンの利用

1. 専用ノートの **Record** ボタン  をタップすると、音声録音を開始します。メモの書き込みなしで、録音し続けることができます。
2. オーディオの録音を終了したら、任意の Livescribe ドットペーパーの「**停止**」ボタン  をタップします。

音声録音後のメモの注釈づけ

録音した音声を再生しながら専用ノートに書き込むことで、新しいメモを書き加えたり、事前に録音されたあらゆる音声にメモをリンクさせたりすることができます。

注釈づけは、録音後に、メモを明確にしたり追記したりする必要があるときに、とても役に立ちます。例えば、ミーティングや講義のポイントを修正したり明確にしたりするために、メモを読み返す必要があるかもしれません。書き加えた注釈は、元々の録音した音声にリンクされます。そのため、後で注釈づけを行った文字や絵をタップすると、注釈を書いた時に再生していた音声を聞くことができます。

1. 音声再生を開始します。注釈づけをする音声にリンクされたメモをタップするか、または、ナビプラスやその他の方法を使用して、録音した音声を探して再生します。

2. 音声再生を開始したら、スマートペンで書き込みを始めます。書き込んだ注釈と、事前に録音された音声とが自動的にリンクされます。
3. 注釈づけを終えたら、音声再生を停止します。

スマートペンは、注釈を書いた時点でオーディオを注釈にリンクします。

バッテリー残量の確認

音声録音の前に、スマートペンのバッテリー残量を確認することは重要です。こうすることで、録音の途中で電池切れになることを防げます。

BATTERY ボタンを使用したバッテリー残量のチェック

1. スマートペンを起動します。
2. 専用ノートの表紙裏を開き、**Settings** エリアを探します。
3. Battery ボタン  をタップして、現在のバッテリー残量を確認します。
以下の画像は、フル充電状態であることを示しています。



クイック・コマンドを使用したバッテリー残量の確認

1. ナビプラスの中央をダブルタップ 回続けてタップすること します。



スマートペンの**メインメニュー**には、クイック・コマンドのサイン (*) が表示されます。これは、クイック・コマンドの書き込みの待機状態であることを示しています。



2. 3 秒以内に、「電池」という単語を書きます。

テキスト予測機能により、スマートペンは、クイック・コマンドの入力内容に一致する最初のコマンドを表示します。この場合は、「電」と書くとすぐに、電池がディスプレイに表示されます。ディスプレイにコマンドが確認できれば、それ以上書かずに止めて起動できます。



3. ナビプラスの右矢印 をタップするか、をタップするか、専用ノートをダブルタップします。

バッテリー残量がディスプレイに表示されます。



クイック・コマンドを作成すると、それは、タップしてアプリやコマンドを繰り返し実行できるアクティブ・ボタンになります。これは、作成した起動ライン ショートカットにも当てはまります。

スマートペン・ソフトウェアのアップデートのインストール

Livescribe 社は、ペーパーリプレイのようなスマートペン・アプリと、基盤となるスマートペンのファームウェアを定期的にアップデートしています。また、新しい Livescribe ドットペーパー製品に対応するソフトウェアもアップデートしています。スマートペンをコンピュータに接続すると、エコー・デスクトップが起動し、利用可能なアップデートがチェックされます。エコー・デスクトップを使用して、アップデートを手動でチェックすることもできます。



注 新しい Livescribe ドットペーパー製品を使おうとして、「not supported (対応していません)」というエラーメッセージが表示された場合、スマートペンのソフトウェアをアップデートする必要があります。

1. スマートペンをコンピュータに接続します。

2. エコー・デスクトップを起動します。

最新のアップデートが自動的にチェックされます。

3. アップデートを承認します。

スマートペンへのアップデートの転送を延期した場合、スマートペンを取り外し、再度コンピュータに接続することで、転送プロセスを再開することができます。再開すると、利用可能なアップデートを転送するよう促されます。

Livescribe デスクトップはこれらをスマートペンにダウンロードしインストールします。

スマートペン・アプリの使用

スマートペン アプリケーションは、スマートペン上で実行する小さなプログラムです。

スマートペン・アプリについて

すべてのスマートペン・アプリは、同様のユーザー・インターフェースを持ち、下記に述べる同じ操作方法で操作することができます。

システム・アプリは、スマートペンのシステム・ソフトウェアの一部として、最初からインストールされているアプリです。システム アプリケーションには、たとえばペーパー リプレイ、ピアノ、およびトランスレーター デモなどがあります。

起動ライン(ショートカット・キー)を使用したアプリの起動

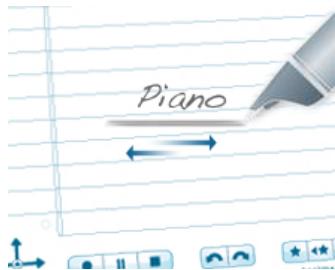
起動ライン(ショートカット・キー)を使用して、スマートペンにインストールされた多くのアプリを素早く起動することができます。

起動ラインは、どのようなオープン・ペーパー・アプリでも起動することができます。オープン・ペーパー・アプリとは、専用ノートの操作アイコンを必要としないアプリで、例えば、ピアノや翻訳デモがこのアプリにあたります。

タップ・アラウンドとは、ナビプラスを使用する代わりに、アプリのメニューを操作することができる起動ラインの機能です。起動ラインのすぐ周りをタップすることで、ナビプラスの操作(上下左右のタップ、中央のタップ)と同じように機能します。このタップ・アラウンドの範囲は、下記を除いては、ナビプラスの機能と範囲に一致します。

- タップ・アラウンドは、対応するアプリのみで、メニューと操作をコントロールします。
 - タップ・アラウンドの操作を使用して、他のアプリを起動することはできません。
1. 専用ノートに、水平に線を往復させて書きます(右から左へ、または左から右へ)。ペンを途中でノートから離さないようにして書きます。
 2. すぐに、線の上に対象のアプリの名前を書きます。

テキスト予測機能により、スマートペンは、クリック・コマンドの入力内容に一致する最初のコマンドを表示します。



3. アプリの名前の中央をタップして、アプリを起動します。
名前がアプリと一致していれば、アプリは自動的に起動します。
4. タップ・アラウンド機能を使用して、アプリを操作することができます。アプリの名前のちょうど上下左右の位置をタップして、ナビプラスの機能と同じ操作をします。
5. 作成した起動ラインは、アクティブ・エリアとして機能します。任意の時点をこれをタップすると、対応するアプリケーションが起動できます。

ナビプラスを使用したアプリの起動

ナビプラスは、専用ノートに印刷された、スマートペンを操作するアイコンです。ナビプラスは、すべての Livescribe ドットペーパー製品で利用可能です。

1. ナビプラスの中央 をダブルタップして、メインメニューに移動します。
2. ナビプラスの下矢印 をタップして、ペーパーリプレイなどの、スマートペンのシステム・アプリのリストをスクロールします。
3. 右矢印 と下矢印 をタップして、アプリを探します。



名前の書き込みによるメニュー・アイテムの探索

アプリのメニューを探すとき、スマートペンの手書き認識機能を利用して、アプリの名前を書くことでメニュー・アイテムを探します。

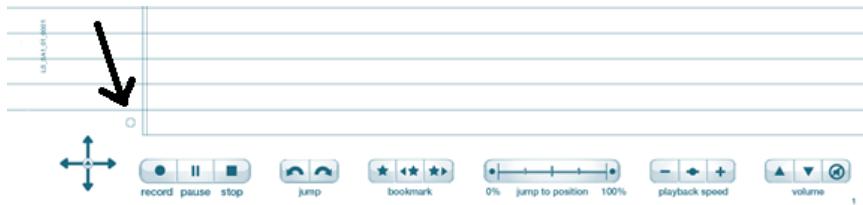
1. アプリのメニューを探すとき、専用ノートにメニュー・アイテムの名前を書きます。
2. 希望の項目が表示されたら、Nav Plus の右 をタップするか、そのページ上をダブルタップして、項目を選択します。

ホームボタンを使用した現在実行中のアプリの終了

スマートペンの電源をオンにすると、ホーム状態で起動します。この状態では、ディスプレイに現在の時刻とバッテリー残量が表示されます。ホーム状態からは、メモを取り込むことができますが、アプリを実行することはできません。

いつでも、ホームボタンをタップして、ホーム状態に戻すことができます。ホームボタンのタップにより、すべての現在実行中のアプリを終了して、ホーム状態のディスプレイに戻ります。アプリを終了して他のことを開始したい時は、ホームボタンを使用することをお薦めします。

ホームボタンは、ほとんどの専用ノート (Livescribe ドットペーパー) に印刷されています。ホームボタンはナビプラスのすぐ右上にある丸印で印刷されているドットペーパー製品もあります。



また、ホームボタンが家の形をしたアイコンで印刷されているドットペーパー製品もあります。



- 専用ノートのホームボタンを1回タップします。

すると、すべての現在実行中のアプリが終了します。スマートペンのディスプレイには、ホーム状態 (現在の時刻とバッテリー残量) が表示されます。

- 起動ラインを使用するか、他のアプリケーションを起動する他の方法を使用します。

クリック・コマンドについて

クリック・コマンドは、アプリを素早く起動したり、そのアプリの特定の機能を呼び出したりするために使用する機能です。

ナビプラスの中央をダブルタップすると、スマートペンは、クリック・コマンドの書き込みを受け付けるようになります。クリック・コマンドの書き込みをした後で、ナ

ビプラスの右矢印をタップするか、専用ノート (*Livescribe ドットペーパー*) のどこかをダブルタップするかして、クイック・コマンドを起動します。

いくつかのアプリやコマンドは、最初からクイック・コマンドが設定されています。たとえば、Nav Plus の中央をダブルタップし「play」と書くと、ペーパー リプレイが起動し、「セッションの開始」コマンドが実行されます。

クイック・コマンドの使用

- ナビプラスの中央  をダブルタップします。

メインメニューに、クイック・コマンド受け付け中のマーク (*) が表示され、クイック・コマンドの書き込みの待機状態になります。



- 3秒以内に、クイック・コマンドを書き込みます。

例えば、「再生」と書き込みます。



テキスト予測機能により、スマートペンは、クイック・コマンドの入力内容に一致する最初のコマンドを表示します。この場合は、「再」と書くとすぐに、「セッションの再生」がディスプレイに表示されます。ディスプレイにコマンドが確認できれば、それ以上書かずに止めても起動できます。



- 右矢印  をタップするか、専用ノート (*Livescribe ドットペーパー*) をダブルタップします。

ペーパーリプレイが起動し、セッションの再生コマンドが呼び出されます。ディスプレイには、セッションの再生リストの一番上のセッションが表示されます。



- 下矢印  をタップして、ナビプラスでセッションをスクロールします。

- 右矢印  をタップして、セッションを再生します。

クリック・コマンドを作成すると、その文字は、タップしてアプリやコマンドを繰り返し実行できるアクティブ・ボタンになります。これは、作成した起動ラインショートカットにも当てはまります。

スマートペンのディスプレイの表示について

アプリを操作するとき、ディスプレイの表示によって、どの方向への操作が可能か分かれます。

ディスプレイの上の横線は、メニューまたはリストの一番先頭であることを表しています。



矢印は、矢印の方向に表示可能なアイテムがあることを表します。



ディスプレイの下の横線は、メニューまたはリストの一番下であることを表しています。



手書き文字認識のヒント

いくつかのアプリは、手書き文字認識を使用します。手書き文字認識については、下記のガイドを参考にして下さい。

- 文字は、水平に、きれいにそろえて書いてください。スマートペンは、縦書きを認識できません。アルファベットを書くときは、大文字より小文字の方がより良く認識します。
- 書いたものを後でタップすると、アプリケーション内のその位置にジャンプできます。

テキスト表示のヒント

いくつかのアプリは、ディスプレイにテキストを表示します。上で述べたようなナビプラスの基本操作を使用して、これらのアプリを操作します。また、下記のガイドラインに従って下さい。

- 下矢印  のタップと、上矢印  のタップをして、メニュー・アイテムとリストをスクロールします。より高速にスクロールするには、フリックとスクラブを使用します。
- テキスト行を表示するには、右矢印  をタップして、テキストの最初の行を確認します。行全体を読むためにスクロールすることができます。次の行を読むには、下矢印  をタップします。テキスト表示にはフリックとスクラブを使用することができます。
- 新しいメニュー項目を表示するには、左矢印  をタップして、メニューに戻ります。それから、下矢印  と上矢印  をタップして、メニュー・アイテムやリストをスクロールします。項目を選択するには、右  をタップします。

ナビプラスについて

ナビプラスとは、専用ノート (Livescribe ドットペーパー) に印刷された、5 方向に操作可能な操作アイコンで、スマートペンのメインメニューを操作することができます。メインメニューを使用して、スマートペンのコマンド、設定、アプリをたどります。ナビプラスには、すでに印刷されたものと、手書きするものとの 2 種類があります。



下記の表は、ナビプラスで利用可能なコマンドの概要です。

中央を 1 回タップ	スマートペンを起動した後か、録音なしでメモを書くとき、ナビプラスの中央  を 1 回タップして、emainメニューに移動します。 アプリを実行中の場合は、中央を 1 回タップすると、アプリメニューに戻ります。
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

中央をダブルタップ

ペーパーリプレイ以外のアプリを使用している場合は、ナビプラスの中央をダブルタップして、現在のアプリを終了し、スマートペンのメインメニューに戻ります。この操作はクイック・コマンドの待機状態にもなるので、アプリの名前を書いてそのアプリを起動することもできます。アプリの操作中の場合は、ナビプラスの中央をダブルタップして、メインメニューに戻ります。ただし例外として、ペーパーリプレイを使用して録音している場合は、ナビプラスの中央をダブルタップするとメインメニューに戻りますが、バックグラウンドでの録音が続けます。

下矢印をタップ

ナビプラスの下矢印をタップして、メニューまたはコマンドやオプションのリストをスクロールします。

上矢印をタップ

ナビプラスの上矢印をタップして、メニューまたはコマンドやオプションのリストをスクロールします。

右矢印をタップ

ナビプラスの右矢印をタップして、アプリ・メニューリストのアイテムを選択するか、もしくは、リストの他の階層に移動します。右矢印をタップして、音声を再生するか、または、アイテム(翻訳、項目説明、コードなど)を表示します。

左矢印をタップ

ナビプラスの左矢印をタップして、直前のリストまたはメニューの階層に戻ります。左をタップしていくと最終的にはアプリケーションが終了し、メインメニューに戻ります。

左矢印のタップについての詳細説明

ナビプラスの左矢印をタップして、スマートペン・アプリまたはクイック・コマンドを終了することができます。また、作成した起動ラインの左側をタップすることでも同様の操作が可能です。通常は、左矢印のタップは、たどってきた操作に戻ることになります。すなわち、左矢印のタップは、開始位置に戻ることを意味しています。

- ナビプラスをタップして、メインメニューの操作を開始していた場合は、左矢印をタップするとメインメニューに戻ります。
- 起動ラインまたはクイック・コマンドの書き込みによって操作を開始していた場合は、ディスプレイに現在の時刻が表示されます。
- 上記のどちらの場合も、結局は同じ状態になります。すなわち、実行中のアプリはなくなり、スマートペンはいつでも書き込みを保存できる状態になります。



注 スマートペン・アプリまたはクイック・コマンドのサブメニューから左矢印をタップすると、元の階層に向かって、メニュー階層を上に戻ります。元の階層から左矢印をタップすると、上述したように、メインメニューにジャンプするか、または現在の時刻がディスプレイに表示されます。

起動したアプリの元の階層は、アプリを起動したときに表示される最初のメニューです。実行中のクイック・コマンドの元の階層は、クイック・コマンドを実行したときに表示されるリストです。ペーパーリプレイが明確に起動した場合、元の階層は、新しいセッションの録音やセッションの再生などを含む最初のメニューです。再生ショートカットのルート レベルは、ペーパーリプレイのセッション再生リストです。

ナビプラスの書き方

専用ノート (Livescribe ドットペーパー) に印刷されたナビプラスが認識されづらくなった場合は、専用ノートにナビプラスを描くことで、独自のナビプラスを作成することができます。

- 専用ノート (スター・ノートを含めて、どのような Livescribe ドットペーパーでも可能です) の上に、縦の線と横の線を書きます。

左右の線に上下の線を交差させても、上下の線に左右の線を交差させても、どちらの順序で描いても構いません。線は、まっすぐ均等に、おおよそ同じ長さで書きます。二本の線は、ほぼ中央で交差させます。

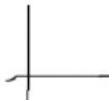


悪い例を下記に示します。

- 線がまっすぐではありません。



- 二本の線の中央で交差していません。



2. 線を描いたら 1秒以内に、ナビプラスの中央  をダブルタップします。ナビプラスの作成プロセスは、これで完了です。

ナビプラスを描いた後は、いつでもずっと使用することができます。



Nav Plusが正しく作成されると、スマートペンはメインメニューを表示します。

フリックとスクラブの使用



1. メインメニューなどの縦のメニュー・アイテムのリストを操作するか、またはアプリや設定などのサブメニューの 1 つを操作します。



2. 専用ノート上の、まだ何も書いていないところで、スマートペンのペン先を 0.5 秒ほど下に押します。
3. 短いビープ音が聞こえるまで待ち、専用ノートからペン先を離さずに、横の線か縦の線を引きます。

線を引く代わりに、フリックとスクラブの操作エリアとして、長方形のボックスを描くことができます。まっすぐの線よりも広いエリアを確保できるので、このボックスは使いやすいかもしれません。

スマートペンは、描いたエリアをフリックとスクラブの操作エリアとしてアプリに割り当てます。



4. フリックとスクラップの操作エリア上でスマートペンを動かして、アプリのテキスト表示をスクロールします。

フリックの動作も、スクラップの動作も、同じ操作エリア上で使用することができるるので、エリアを分けて描く必要はありません。ただし、縦のスクロールと、横のスクロールとで、操作エリアを分ける必要があります。

フリックとスクラップの操作エリアを作成した後は、いつでもスクロールするときに使用することができます。これは、手書きのナビプラスを作成すると何度も使用できることと似ています。フリックとスクラップの操作エリアを再使用するには、再度 0.5 秒、ペン先を下に押す必要はありません。この操作は、最初にこのエリアを作成するときにのみ必要です。

表示テキストが上下(垂直のコントロール用)にスクロールするのか、左右(水平のコントロール用)にスクロールするのかは、コントロールを描画した方向により異なります。

ホームボタンのダブルタップへのコマンド割り当て

初期設定では、ホームボタンを 1 回タップすることも、ダブルタップすることも、同じ操作です。しかし、別の機能をダブルタップに割り当てることができます。

すべてのオープン・ペーパー・スマートペン・アプリ(専用ノートに印刷されたコントロールバーを必要としないアプリ)またはクイック・コマンドを使用することができます。例えば、計算機能をよく利用するなら、計算機能のクイック・コマンドを、ホームボタンのダブルタップで起動するよう割り当てることができます。

1. ナビプラスの中央 をダブルタップして、メインメニューに移動します。
2. ナビプラスの下矢印 をタップして、スマートペンのアプリのリストをスクロールします。
3. ショートカットボタンが表示されたら、右矢印 をタップして選択します。



4. 右矢印 をタップして、ホームボタンのダブルタップの割り当てを選択します。



スマートペンは、コマンドの書き込みを促します。



5. オープン・ペーパー・スマートペン・アプリか、またはクイック・コマンドを書き込みます。例えば、**計算**と書きます。

ナビプラスの中央をダブルタップしたり、二重線を書いたりしないで下さい。クイック・コマンドの作成には、文字だけを書いて下さい。

スマートペン・アプリの名前か、またはクイック・コマンドが表示され、新しい割り当てが確定されます。



ショートカットボタンの使用

ステイッキーノートのような、いくつかの新しい Livescribe ドットペーパー製品には、ショートカットボタンがあります。ショートカットボタンには、のように連続した数字のラベルが貼り付けられています。

ホームボタンのダブルタップに機能を割り当てるのと同じように、ショートカットボタンに機能を割り当てることができます。オープン・ペーパー・スマートペン・アプリまたはクイック・コマンドを、ショートカットボタンの 1 つに割り当てます。

1. ナビプラスの中央をダブルタップして、メインメニューに移動します。
2. ナビプラスの下矢印をタップして、スマートペンのアプリのリストをスクロールします。
3. **ショートカットボタン** が表示されたら、右矢印をタップして選択します。
スマートペンは、ショートカットボタンの割り当てを促します。
4. 下矢印をタップして、**ショートカット1 を割り当て**を表示します。
5. 下矢印を再度タップして、**ショートカット2 を割り当て**などを表示します。
6. ショートカットを設定する番号が見つかったら、右矢印をタップします。
スマートペンは、コマンドの書き込みを促します。
7. オープン・ペーパー・スマートペン・アプリか、またはクイック・コマンドを書きます。例えば、**計算**と書きます。

ナビプラスの中央をダブルタップしたり、二重線を書いたりしないで下さい。 クイック・コマンドの作成には、文字だけを書いて下さい。

例えば、ディスプレイに計算のクイック・コマンドが表示されて、次にスクロールを開始すると、**ショートカット 1 は現在が割り当てられています**と表示されます。

ディスプレイはスマートペン アプリケーション名またはクイック コマンドを表示し、それから、新しい割り当てを確認します。

未割当のショートカットボタンのタップ

初期状態では、ホームボタン以外はショートカットボタンが割り当てられていません。未割当のショートカットボタンをタップすれば、スマートペンは、ショートカットにコマンドを割り当てるよう促します。



ヒント 未割当のショートカット ボタンを間違ってタップしたときに、割り当てを行いたくない場合は、任意の Livescribe ドット ペーパーをタップしてください。

スマートペンを使用した音声録音

メモを取りながら音声を録音することは、Livescribe 社製のスマートペンの主な機能です。ノートを書かずに録音することもできます。

録音ボタンを使用した録音開始方法



重要 録音をするときは必ず許可をとってください。
Livescribe 社の製品やサービスを使用する際は、録音に関するすべての法律を順守してください。

1. record ボタン  をタップします。
2. スマートペンは録音を開始し、ディスプレイに録音経過時間が表示されます。



録音の開始後は、計算機能など、スマートペンの他のアプリを使用することができます。録音が進行中であることを示す点滅する録音アイコンがディスプレイの右下隅に表示されます。

スマートペンの電源ボタンを使用した録音の開始方法



重要 録音をするときは必ず許可をとってください。
Livescribe 社の製品やサービスを使用する際は、録音に関するすべての法律を順守してください。

1. 電源ボタンを押してスマートペンを起動します。
2. ディスプレイに録音を開始する表示が出るまで、約 5秒間電源ボタンを押し続けます。



スマートペンの電源がオフの場合は、起動プロセスが開始して“REC...”という文字がディスプレイに表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。また、クリック録音で録音を開始した後に Livescribe ドットペーパーに書き込むと、スマートペンはノートとオーディオをリンクします。

ナビプラスを使用した録音開始方法

ナビプラスを使用して録音を開始します。

1. ナビプラスの中央  をダブルタップして、メインメニューに移動します。
2. ペーパーリプレイが表示されるまで、下矢印  をタップします。



3. 右矢印  をタップして、ペーパーリプレイ・アプリを起動します。

新しいセッションの録音オプションが表示されます。



4. 右矢印  をタップして、新しいセッションの録音を選択します。

ディスプレイに録音が開始されたことが表示されます。



ペーパーリプレイでの録音中に Nav Plus を使用して、メニューのスクロールやアプリケーションの起動などの標準の機能セットを実行することができます。

録音の停止

音声の録音または音声の再生を停止するには、いくつかの方法があります。

- 専用ノートの **stop** ボタン  をタップします。
- スマートペンの電源をオフにします。
- ナビプラスを使用します。

1. 録音中にナビプラスの中央  を1回タップします。

スマートペンには、**セッションの停止** が表示されます。録音は継続しバックグラウンドでの録音のサイン(大きな点が点滅します)がディスプレイに表示されます。

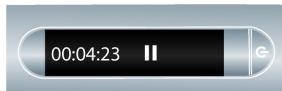


2. 右矢印  をタップして、録音を停止します。

録音の一時停止と再開

1. pause ボタン  をタップして、録音を一時停止します。

スマートペンのディスプレイに、一時停止を示すアイコンが表示されます。



2. pause ボタンをもう一度タップして、録音を再開します。

録音を一時停止しても、書き込んだメモの記録は続きます。録音の一時停止後や再開前のメモはすべて、一時停止ボタンをタップする時点より前の音声にリンクされています。

録音の一時停止や再開により、別のセッションが作成されます。一時停止されたセッションおよび再開されたセッションは 1 つのセッションとして保存されます。録音を開始し停止すると別のセッションになります。

他のアプリの実行中に録音を続ける方法

ペーパーリプレイを使用して音声を録音している間でも、他のスマートペンのアプリ(計算機能など)を起動して実行することができます。しかし、新たに起動したアプリがスマートペンの入力 文字や線を受信するので、アプリが起動している間は、ノートと音声はリンクされません。新たに起動したアプリがスマートペンをコントロールし、ディスプレイや音声の出力を制御します。

録音の停止や一時停止をしたい場合や、あるいは録音に新しい印を追加したい場合は、ペーパーリプレイをメインのアプリとして再開させる必要があります。ペーパーリプレイ・アプリを再開するには、いくつかの方法があります。

- 専用ノートの再生ポジション・スライド、またはペーパーリプレイのメモをタップします。

- 録音の操作アイコンをタップするか、ナビプラスを使用してペーパリプレイ・アプリを起動するかして、ペーパリプレイの起動をするための通常の動作を行します。
- 5秒間スマートペンで書いたり、タップしたりしないでください。

スマートペンは、ディスプレイの右下に録音ボタンを点滅させて、バックグラウンドでの録音が実行中であることを表示します。



注意 スマートペンの電源を切るかドッキングを解除すると、録音は停止します。

ペーパレス・セッションの録音(スマートペン本体のみを使用した録音)

音声の録音が必要で、専用ノートに書き込みができない場合や、書き込みたくない場合は、スマートペン本体のみを使って録音ができます。この方法では、スマートペンを音声レコーダーとしてのみ使用します。



注 ペーパレス・セッションを録音する場合、専用ノートに書き込むことにより、いつでも録音データを書き込んだメモにリンクします。この時点で、ペーパレス・セッションはメモにリンクされ、ペーパレスではなくなります。

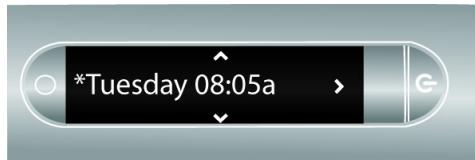
同様に、すでに録音したペーパレス・セッションがある場合、セッションを再生し専用ノートへの書き込みを始めることができます。ペーパレス・セッションはノートとリンクされ、ペーパレスではなくなります。

ペーパレス・セッションを作成するには、メモを取らずに音声の録音を開始します。ペーパレス・セッションの録音にはいくつかの方法があります。

- 専用ノートの録音ボタンのタップ
- クイック録音機能の使用
- ナビプラスの使用

新しいペーパーレス・セッションはペーパーリプレイのセッション・リストに表示されます。

ペーパーレス・セッションを再生するには、ナビプラスを使用して、ペーパーリプレイ・セッションまでたどります。スマートペンは、セッション選択リストのファイル名の端にアスタリスク (*) を表示して、ペーパーレス・セッションであることを示します。



注 スマートペンでの最後の操作がペーパーレスセッションの録音だった場合は、ペーパーコントロールのポジションバーの 0% 位置をタップすることによってもセッションにアクセスできます。

録音中の音声ブックマークの追加

ブックマークにより、音声のセクションに印をつけ、後から印をつけたセクションに、素早く、また簡単に移動することができます。ブックマークは録音のときに追加するか、後で録音を聞くときに追加できます。特定の専用ノートには、ブックマーク操作ボタンが含まれています。

- 録音中または再生中にブックマーク操作ボタン  をタップします。ブックマークが音声ファイルのタップした位置に追加されます。



スマートペンからの音声録音の削除

内蔵メモリーの管理などの理由により、スマートペンからセッションを削除したい場合は、メモをエコー・デスクトップに転送してから、スマートペンのペーパーリプレイ・セッションを削除することを推奨します。

スマートペンからセッションを削除すると、そのファイルにリンクされているメモは、それ以前の書き込みにリンクされていたペーパーリプレイ音声を再生できませんただ

し、エコー・デスクトップにメモを転送しておけば、コンピュータからメモの再生を続けることができます。



注 スマートペンとエコー・デスクトップの両方からセッションを削除した後は、セッションを復元することができません。セッションを削除しても、スマートペンに保存されているノートに影響を与えることはありません。ノートをアーカイブするまで、セッションはスマートペンに保存されます。

スマートペンからペーパーリプレイ・セッションを削除するにはいくつかの方法があります。

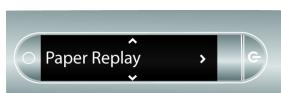
- エコー・デスクトップを使用して、スマートペンのセッションを削除します。
- ドットペーパー製品をアーカイブします。これにより、そのドットペーパー製品用のスマートペンからすべてのペーパーリプレイ・セッションが削除されます。
- スマートペンのメインメニューを使用します。
- 「現在のセッションを削除」ショートカットを使用して、最後にアクセスしたセッションを削除する。

ナビプラスを使用した音声録音データの削除

1. ナビプラスの中央  をダブルタップして、**メインメニュー**に移動します。



2. 下矢印  をタップして、ペーパーリプレイが表示されるまで、スマートペンのアプリをスクロールします。



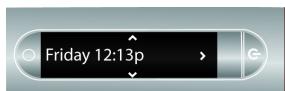
3. 右矢印  をタップして、ペーパー リプレイを起動します。
4. 下矢印  をタップして、メニューからセッションの削除までたどります。



5. 右矢印  をタップして、セッションを閲覧します。
6. 下矢印  をタップして、セッションのリストをスクロールします。



7. 削除するセッションにたどり、右矢印  をタップして、セッションを選択します。



8. 右矢印  をタップして、削除を確認します。

スマートペンにはセッションが削除されたことが表示されます。



クイック・コマンドによる直前の音声録音データの削除

クイック・コマンドを使用して、直前のセッションを削除できます。ここで、直前のセッションとは、直前にアクセスしたセッションのことです。すなわち、直前に再生、または、録音されたセッションです。

1. ペーパーリプレイの **停止** ボタンをタップして、3秒間押さえます。スマートペンは、再度タップして現在のセッションを削除するよう促します。
2. **停止** を再度タップして、削除を確認します。



オーディオ録音設定を設定する

設定メニューを使用した音声録音の品質の調整

音声品質 設定を使用して、音声録音の品質を調整します。

- **高** 高音質で録音します。この設定では最も多くの内蔵メモリーが必要で、非常に広い場所での録音や高音質での録音が必要な場合に最適です。
- **中** 初期設定の音質設定です。
- **低** 低音質で録音します。内蔵メモリーを節約する設定で、最小限の内蔵メモリーを使用し、書き取りまたは狭く静かな場所での録音に最適です。

1. 設定メニューで、**音声品質**オプションを選択します。
2. **高、中、低**、いずれかを選択します。

録音中に音声品質は変更できません。常に録音を開始する前に、適切な音質を選択するようにしてください。

AUDIO SETTINGS ボタンを使用した音声録音品質の確認方法



専用ノートの表紙裏の **audio settings** ボタン をタップします。

スマートペンはオーディオ設定 オーディオ品質などを表示します。

設定メニューを使用したマイク感度の設定

スマートペンの**マイク感度**を設定して、さまざまな録音の状況に対応します。

- **会議室** マイクの近くで話す、静かな環境に対応するように、マイク感度を設定します。この設定は、書き取り、オフィス、または小さな会議室での使用に最適です。
- **講堂** 広々とした空間で音を捉えるようマイクを設定します。この設定は話し手の声がスマートペンのマイクから離れた大きな部屋での使用に最適です。このような環境で録音する場合、3D録音ヘッドセットも使用できます。
- **自動** 初期設定で、マイク感度は、録音する環境の騒音レベルに基づいて自動的に設定されます。



注 スマートペンの録音中に**マイク感度**を変更できません。録音前に必ず適切な設定を選択して下さい。直前の設定内容が使用されます。

1. 設定メニューからマイク感度オプションを選択します。
2. 会議室、講堂、または自動から選択します。

音声設定ボタンを使用したマイク感度の確認

スマートペンのマイク感度を確認することができます。



専用ノートの表紙裏の **audio settings** ボタン をタップします。

スマートペンはマイク感度などのオーディオ設定を表示します。

音声クリック・コマンドを使用した音声設定の確認

音声クリック・コマンドを使用して、すべてのスマートペンの音声設定ステータスを確認できます。

1. ナビプラスの中央の  をダブルタップします。

スマートペンの**メインメニュー**には、クリック・コマンド受付中のマークが表示され、クリック・コマンドの書き込みの待機状態になります。



2. 3秒以内に「オーディオ」という単語を書きます。

テキスト予測機能により、スマートペンはクリック・コマンドの入力内容に一致する最初のコマンドを表示します。ここでは、「オ」と書くとすぐに「オーディオ」が表示されます。ディスプレイにコマンドが確認できれば、それ以上書かずで止めても起動できます。



3. ナビプラスの右矢印  をタップするか、または専用ノートのどこかをダブルタップします。

クリック・コマンドを作成すると、それは、タップしてアプリやコマンドを繰り返し実行できるアクティブ・ボタンになります。起動ライン(ショートカット・キー)の作成の場合も同様です。



スマートペンはオーディオ設定を表示します。

スマートペンの音声の再生

スマートペンでオーディオを録音した後に、それをいくつかの方法で再生できます。

メモのタップによるセッションの再生

ペーパーリプレイ・セッションを録音すると、メモと音声はリンクし、シンクロ(同期)されます。

メモをタップして、セッションとリンクされた音声を再生します。音声が録音されたメモの位置から音声が再生されます。

再生中は、スマートペンのディスプレイに録音データの経過時間と残りの時間が表示されます。



ヒント 録音のときには、ノートに記録を取るようにして下さい。その書き込みをタップして再生を開始できます。こうしないと、ペーパーレスセッションを作成することになります。

再生ボタンを使用したセッションの再生

専用ノート上の再生ボタンをタップして、直前に録音または再生したセッションにアクセスします。サイズやフォーマットによっては、専用ノートの中には、以下の一覧にある操作アイコンすべてが含まれないこともあります。

- ジャンプ・ボタン



- 再生ポジション・スライド



- ブックマーク



ジャンプ、再生ポジション・スライド、ブックマークなどのペーパーリプレイ再生の操作ボタンは、1つのペーパーリプレイ・セッション内で機能します。前後のジャン

プや再生スピードの向上は、一度に1つのペーパーリプレイ・セッションのみで行うことができます。



ヒント 録音データやメモが使用中のページにあるかどうかに関わらず、ページに書き込まれたメモをタップする前に再生ポジション・スライドをタップすると、直前にアクセスした音声録音データが再生されます。この機能により、ペーパーにノートを書くことを忘れた場合での、最後の録音を素早く再生できます。

クイック・コマンドを使用したセッションの再生

再生クイック・コマンドを使用して、セッション・リストの上位の項目をすぐに表示します。

1. ナビプラスの中央 をダブルタップします。

スマートペンの**メインメニュー**には、クイック・コマンド受け付け中のマーク(*)が表示され、クイック・コマンドの書き込みの待機状態になります。



2. 3秒以内に「再生」という単語を書きます。



テキスト予測機能により、スマートペンはクイック・コマンドの入力内容に一致する最初のコマンドを表示します。この場合は、「再」と書くとすぐに「**再生**」が表示されます。ディスプレイにコマンドが確認できれば、それ以上書かずに止めても起動できます。



3. ナビプラスの右矢印 をタップするか、または専用ノートをダブルタップします。

4. スマートペンには、再生セッションのリストの上位の項目が表示されます。ナビプラスの下矢印  をタップして、セッションをスクロールします。次に、右矢印  をタップして再生を開始します。

ショートカットを作成すると、アプリやコマンドを繰り返しタップできる動作ボタンとして機能します。起動ライン(ショートカット・キー)の作成の場合も同様です。



ナビプラスを使用したセッションの再生

ナビプラスを使用して、音声セッションのリストを閲覧し、タイムスタンプを基に音声ファイルを選択します。

1. ナビプラスの中央  をダブルタップして、メインメニューに移動します。
2. ペーパーリプレイが表示されるまで下矢印  をタップします。



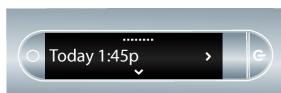
3. 右矢印  をタップして、ペーパーリプレイ・アプリ・メニューを選択します。リストの最初の項目は、新しいセッションの録音です。



4. 下矢印  をタップして、セッションの再生までたどります。



5. 右矢印  をタップして、タイムスタンプを基に一覧化されたセッション・リストを確認します。



6. 下矢印  をタップして、セッションのリストをスクロールします。



- 右矢印  をタップして、聞きたい音声セッションを選択します。

再生が始めます。



音声再生の停止

音声の再生を停止するにはいくつかの方法があります。

- 専用ノートの **stop** ボタン  をタップします。
- スマートペンの電源をオフにします。
- ナビプラスを使用します。

- 音声の再生中にナビプラスの中央  を 1 回タップします。

スマートペンには **セッションの停止** が表示されます。

- 右矢印  をタップして、再生を停止します。

音声再生の一時停止と再開

- pause** ボタン  をタップして、音声の再生を一時停止します。

スマートペンのディスプレイには、一時停止のアイコンが表示されます。



- pause** ボタンをもう一度タップして、再生を再開します。

再生が一時停止されても、書き込んだメモの記録は続きます。再生の一時停止後に書いたメモも、再開前に書いたメモも、すべて、一時停止ボタンをタップする時点より前の音声にリンクされています。オーディオを再生しながらノートを追加しリンクさせたりすることを注釈付けと呼びます。

音声再生のコントロール

スマートペンの音声ファイルの再生を操作して、そのファイルのどのセクションにも、すぐにたどれる方法がいくつかあります。以下に説明するすべてのコントロールは、ノートブックの各ページの下部にあります。

再生音量の変更

再生ボリューム・ボタン  を使用して、再生のボリュームを増減させたり、ミュートにしたりします。消音した後に、もう一度消音ボタンをタップすると消音が解除できます。

前後へのジャンプ

ジャンプ コントロール  をタップすることで、オーディオ ファイル内を 10 秒間前または後ろにジャンプできます。

ジャンプの高速化

ジャンプ・ボタン  をタップし続けると、音声ファイルのジャンプが連続して実行されます。スピード ジャンプを続けると、ジャンプの長さが増えます。

再生速度の変更

音声ファイルの速度を上げたい場合や、特定の位置を再生するのに音声セッションの速度を下げたい場合は、再生スピード・ボタン  を使用します。

- 通常の速度から音声の速度を下げるには、低速再生  ボタンをタップします。再生速度を下げた状態にするためには、連続してタップします。
- 通常の速度から音声の速度を上げるには 高速再生  ボタンをタップします。再生速度を上げた状態にするためには、連続してタップします。
- 通常の速度 (音声が録音された速度) に戻すには、通常再生  ボタンをタップします。

速度を上げて再生される音声も、速度を下げて再生される音声も、ステレオ再生ではありません。標準速度に戻るまで、オーディオはモノで再生されます。

再生中の音声ブックマークの設定

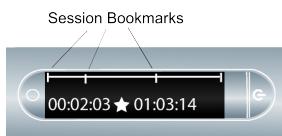
ブックマークにより、音声のセクションに印をつけ、後から印をつけたセクションに、素早く、また簡単に移動することができます。ブックマークは録音のときに追加するか、後で録音を聞くときに追加できます。

- ブックマーク・ボタン  を録音中か再生中にタップします。ブックマークが音声ファイルのタップした位置に追加されます。



ブックマークの確認

- ブックマークを音声セッションに追加した後で、前  と後  のブックマーク・ボタンを使用して、ブックマークを確認できます。
- 再生中、スマートペンのディスプレイには、音声タイムラインにブックマークが表示されます。



ナビプラスを使用した音声の再生

- ナビプラスの中央  をダブルタップして、**メインメニュー**に移動します。
- 下矢印  をタップして、ペーパーリプレイが表示されるまでスマートペンのアプリをスクロールします。



- 右矢印  をタップして、ペーパーリプレイ・アプリ・メニューを起動します。新しいセッションの録音が最初の項目に表示されます。



- セッションの再生にたどりつくまで下矢印  をタップします。



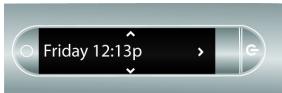
- 右矢印  をタップしてセッションを閲覧します。

6. 下矢印  をタップして、セッションのリストをスクロールします。



スマートペンには、通常のセッションより前に、直前のペーパーレス・セッションから順番に表示されます。

7. 右矢印  をタップして、再生するセッションを選択します。



ペーパーリプレイのパスワードを使用した音声録音の保護

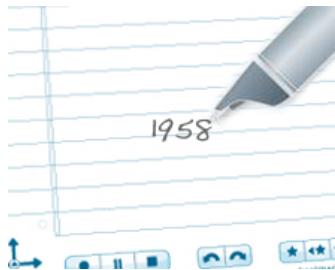
ペーパーリプレイのパスワード機能を使用して、スマートペンの音声録音にパスワードを設定します。パスワードの設定により、録音した音声を第三者に聴かれることを防止できます。音声の再生は、パスワードが入力されるまで保護されます。パスワードは 4 術の数字です。

1. メインメニューから下矢印  をタップして、ペーパーリプレイまでたどります。
2. 右矢印  をタップして、ペーパーリプレイを起動します。
3. 下矢印  をタップして、**パスワードを使って保護**に行きます。
4. 右矢印  をタップして、パスワードを設定します。



5. ノートにパスワード用の 4 術の数字を書きます。





パスワードを特定されないように、以下の方法のうちの 1つを使用するよう推奨します。

- 数字を逆順など、違う順番で書きます。
- 数字をページ上のいろいろな場所に書きます。
- パスワードを書いて確認した後に、その位置に戻り、パスワードの上に他の数字を書いて特定されないようにします。

6. パスワードの入力が完了したら、ナビプラスの右矢印 $\downarrow\circlearrowright$ をタップします。
スマートペンはパスワードの設定を確認します。



パスワードの設定後は、セッションを再生する度にパスワードの入力が求められます。

7. セッションを聞くには、指示されたときに専用ノートにパスワードを書きます。
スマートペンがパスワードが正しいかどうかを確認します。

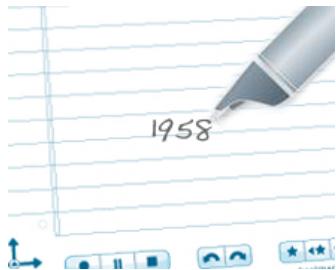
ペーパーリプレイのパスワードのキャンセル

1. ナビプラスを使用して、ペーパーリプレイ > パスワードを使って保護 > パスワードの削除へ移動します。



2. ナビプラスの右矢印 $\downarrow\circlearrowright$ をタップして、パスワードを削除しパスワードの保護をキャンセルします。
3. 指示に従い、削除するパスワードを書きます。

パスワードの保護がオフになるとパスワードは保存されません。直前まで使っていたパスワードは永続的に消去されます。パスワード保護機能を再開させる場合は、新しいパスワードの設定が必要です。以前と同じパスワードの使用もでき、使用する上でパスワードが追跡されることはありません。



4. スマートペンはパスワードの削除を確認します。



エコー・デスクトップを使用して、パスワードの保護をキャンセルし、ペーパーリプレイのパスワードを削除することもできます。この方法はパスワードを忘れてしまい、ペーパーリプレイ・セッションへアクセスする必要があるときに役に立ちます。パスワードのキャンセルに使用するエコー・デスクトップはスマートペンと同じアカウントへの登録が必要です。パスワードを削除するには、スマートペンをドッキングする必要があります。

オーディオ再生設定を設定する

設定メニューを使用した再生の有効化または無効化

特定のポイントを聞いた時点から、その内容についてメモに書き始める時点までには自然な遅れ(遅延)が生じます。この自然な遅れに対応するために、スマートペンはメモに書く時点より5秒前から音声を再生します。この機能は**再生遅延**といいます。この機能を有効化あるいは無効化することができます。

1. 設定メニューから、**再生遅延**オプションを選択します。
2. オンまたはオフを選択します。

音声設定ボタンを使用した再生遅延の確認

再生遅延は、音声を聞いてメモを取る5秒前の時点で音声を再生する機能です。この設定が有効(初期設定)か、無効かを確認できます。

1. 現在の再生遅延を確認するには、ノートの表紙裏の **audio settings** ボタン をタップします。
2. スマートペンは先行再生が「オン」か「オフ」であるかどうかを含めたオーディオ設定を表示します。

計算機能の実行

スマートペンを使用して計算を実行できます。

計算機能 クイック・コマンドの使用

計算機能 クイック・コマンドは基本的な数値計算を実行します。

計算機能を使用する場合は、以下のガイドラインに従って下さい。

- 数字は小数点を含めて 12 文字まで使用できます。
- 演算子には、+、-、×、*、/、÷ が含まれます。
- 等号を書き込む代わりにダブルタップを使用できます。例えば、 $52 - 14$ の次にダブルタップをすると、= と等しくなります。



注 計算式の長さがディスプレイのサイズを超える場合、新しい文字が右に追加され、最初の式は左へスクロールします。

1. ナビプラスの中央 をダブルタップします。ダブルタップとは、素早く 2 回連続でタップすることです。

スマートペンには、**メインメニュー** にクイック・コマンド受付中のマーク (*) が表示され、クイック・コマンドの書き込みの待機状態になります。



2. 3 秒以内に「計算」という単語を書きます。

テキスト予測機能により、スマートペンは、クイック・コマンドの入力内容に一致する最初のコマンドを表示します。この場合は、「計」と書くとすぐに、計算がディスプレイに表示されます。ディスプレイにコマンドが確認できれば、それ以上書かずに止めて起動できます。



3. ナビプラスの右矢印↑ をタップするか、専用ノートをダブルタップします。

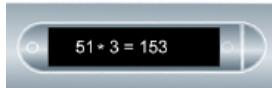
スマートペンは、計算式の書き込みを促します。



4. $51 \times 3 =$ などの基本的な計算式を書きます。



計算結果が表示されます。



クイック・コマンドを作成すると、それは、タップしてアプリやコマンドを繰り返し実行できるアクティブ・ボタンになります。これは、作成した起動ライン ショートカットにも当てはまります。

計算キーの使用

専用ノートの表紙裏の計算キーは、基本的な計算を実行するだけでなく、多くの便利な関数機能を搭載しています。

専用ノートに以下のような計算キーがある場合、スマートペンのペン先を使用して、印刷されたキーをタップします。



注 Livescribe 社の製品を扱う販売業者から専用のスタイラスを購入することができます。日本では未発売です。電卓をインクで汚さないようにするために、インク カートリッジの代わりにスタイラスを使用してください。

基本的な計算機能の使用

計算キーの数字入力の受付と結果表示は、11 文字までです。計算結果が 11 桁より長い場合、指数表現で表示されます。 キーをタップして、正の数と負の数を切り替えることができます。基本的な数学演算子は普通の卓上電卓のように機能します。数字、演算子、数字、等号、とタップしていくと、回答が表示されます。

演算子の直後に等号をタップすると、計算機能は最初にタップした数字で計算を実行します。たとえば、「 $6 \times =$ 」とタップすると、表示される結果は 36 になります。

2 つ以上の演算子を続けてタップすると、最後にタップした演算子が保持されます。たとえば、「 $6 \times + 4 =$ 」とタップすると、結果は 10 になり、「 x 」が「 $+$ 」に置き換えられます。

等号を連続してタップすると、直前の計算を繰り返します。たとえば、「 $3 + 4 = =$ 」とタップすると、最初の結果は 7 になり、次に 7 に 4 が加算されて結果は 11 になります。

計算式での括弧の使用

通常、計算キーは、拡張表現式では演算子の標準の順序に従います。しかし、式の中に括弧   を使用して、計算処理の順序を操作できます。括弧を入れ子で挿入して、さらに計算の順序を操作できます。括弧を入れ子で挿入して、さらに計算の順序を操作できます。



注 右カッコをタップするたびに、電卓はカッコ内の式を計算して結果を表示します。

クリアエントリー (CE) キーとクリア (C) キーの使用

- CE キーをタップして、直前の入力を消去します。

- C キーをタップして、未計算の演算子も含めすべての式を消去します。


どちらのキーもメモリー内の値は消去しません。

メモリー・キーの使用

メモリー内に数字を格納できます。値がメモリー内にある場合、スマートペンのディスプレイに M の記号が表示されます。

メモリー内の値が変わると、スマートペンの M の記号が点滅します。メモリー内の値がゼロの場合は、M の記号が消えます。

	現在表示されている値をメモリー内の値に足します。
	現在表示されている値をメモリー内の値から引きます。
	メモリー内の現在の値を表示します。
	メモリーの値を「0」に設定します。

関数機能の使用

計算キーの関数エリアには、特殊な数学演算子や三角関数などの複数の演算子と関数が含まれています。

いくつかの関数計算では、計算結果を得るために、数字 1 つのみを入力後、演算子を入力する必要があります。数字を入力して、次に、演算子の 1 つを入力すると結果がすぐに表示されます。他の演算子は 2 つの値を取ります。たとえば、7 の 2 乗の場合、'7 ' とタップすると結果は 49 になります。2 の 3 乗の場合、'2  3 =' とタップします。結果として 8 が表示されます。

計算キーのキーパッド一覧

	数字の値のパーセンテージを返します。
	数字 n の階乗を返します。
	数字の二乗を返します。
	数字の平方根を返します。
	数字の逆数を返します。
	数字 y を x 乗します。
	円周率を返します。

	10 を x 乗します。
	e の x 乗を返します (自然指数関数。e は約 2.71828...)
	数字の10 を底とする常用対数を返します。
	数字の自然対数を返します。
	0 と 1 の間の無作為な数を生成します。
	数字のコサイン。
	数字のアーク・コサイン。
	数字のタンジェント。
	数字のアーク・タンジェント。
	数字のサイン。
	数字のアーク・サイン。
	サイン、コサイン、タンジェントなどの三角関数の計算はラジアン・モードまたはグラジアン・モードで行う必要があります。初期設定では計算機能はディグリー 度・モードです。スマートペンの電源をオフにすると、ディグリー・モードに戻ります。DRG ボタンはディグリー 度、ラジアン、グラジアン・モード間の切り替えを行います。三角関数を使用する場合や、モードの変更に DRG キーを使用する場合、スマートペンのディスプレイには、現在のモードの記号が表示されます。
	<p>注 完了した計算の変換にDRGキーは使用できません。 計算を始める前にモードを設定してください。</p>

ピアノの使用

ピアノ機能の使用により、スマートペンで専用ノートにピアノを書いて、音楽の演奏ができます。ピアノのサウンドを変更したり、リズムトラックを追加したり、シャープやフラットを追加したりできます。

ナビプラスからのピアノの起動

1. ナビプラスの中央  をダブルタップして、メインメニューに移動します。
2. 下矢印  をタップして、ピアノが表示されるまでスマートペンのメニューをスクロールします。



3. 右矢印  をタップして、ピアノを選択します。

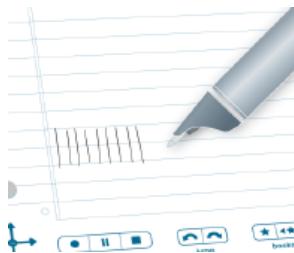


起動ラインを使ってピアノを起動することもできます。

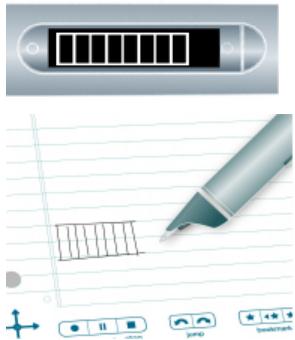
ピアノの書き方

1. 左から右へ 9 本の平行な縦線を書きます。

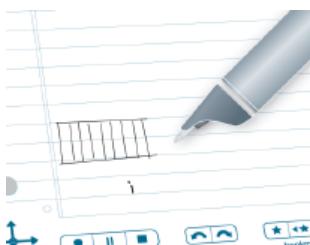
スマートペンのディスプレイには、線が点滅して表示され、次にどの線を書くか示されます。



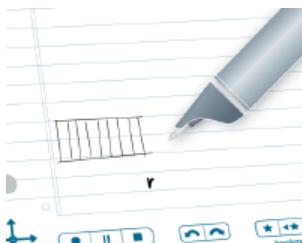
2. 9 本の平行線の上下を横線でつなぎます。



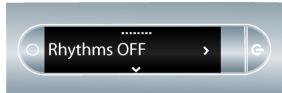
3. アルファベットの大文字 “I” を書いて、その近くをダブルタップします。これは楽器アイコンです。
4. “I” アイコンを繰り返しタップして、7種類の楽器（グランドピアノ、ビブラフォン、カリンバ、スチールドラム、バイオリン、フルート、チェレスタ）から1つ選択します。
5. 演奏したい楽器の最初の文字がスマートペンのディスプレイに表示されたら、キーボードをタップします。



6. アルファベットの大文字 “R” を書いて、その近くをダブルタップします。これはリズム・アイコンです。
7. “R” アイコンを繰り返しタップして、5つのリズム・トラック・オプションをスクロールします。



8. 次にピアノの鍵盤にシャープとフラットを追加します。
 9. 楽器アイコンとリズム・アイコンを設定したら、ナビプラスの左矢印➡️をタップします。
- スマートペンには、リズムオフが表示されます。

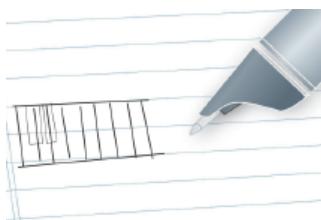


10. 下矢印 をタップして、シャープとフラットを追加までたどります。



11. 右矢印 をタップして、シャープとフラットを追加を起動します。

12. スマートペンには、ピアノ上に長方形が点滅して表示されます。ディスプレイのように、2、3、5、6、7 番目のピアノのキーの線の横に長方形を書きます。



13. ノート上のキーをタップして、ピアノを演奏します。楽器アイコンとリズム・アイコンをタップして、楽器とリズムの種類を変更します。

Livescribe 社のオンラインストアからスタイルスの購入が可能で、インクカートリッジの代わりに、スタイルスでピアノを演奏することができます。こうすることで、ペーパーがインクで汚れません。

楽器の選択 (ピアノの音)

1. “I” 楽器アイコンを繰り返しタップして、ピアノを演奏する音をスクロールします。

演奏可能な音は、下記の通りです。

- グランドピアノ (P)
- ビブラフォン (V)
- カリンバ (K)
- スチールドラム (S)
- バイオリン (Fi) , フルート (F)
- チェレスタ (C)

2. ピアノの楽器アイコンをタップして音を選択します。

演奏したい楽器の最初のアルファベットがスマートペンのディスプレイに表示されます。

バックグラウンドのリズム・トラックの選択

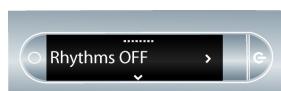
- “R”リズム・アイコンを繰り返しタップして、利用可能なバックグラウンドのリズム・トラックをスクロールします。

リズム・トラックの停止

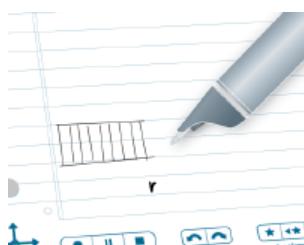
リズム・トラックを停止・開始することができます。

- ナビプラスの左矢印 をタップします。

スマートペンに“リズムオフ”が表示されます。ナビプラスの右矢印 をタップして、リズム・トラックを停止します。



- “R”ボタンをタップして、トラックが演奏されなくなるまでリズム・トラックをスクロールします。



翻訳デモの使用

翻訳デモを使用して、短い単語の組み合わせや、0から9までの数字を、英語からスペイン語、スウェーデン語、アラビア語、中国語に翻訳できます。ノートブックに英語で単語を書くと、スマートペンで正しい翻訳を表示し聞くことができます。

翻訳デモの単語リスト

現在、以下の単語が翻訳デモで指定されています。

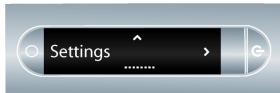
- Zero、One、Two、Three、Four、Five、Six、Seven、Eight、Nine、Ten
- Hello、Goodbye
- Please、Thanks、Thank you
- Chocolate、Banana
- Water、Coffee、Beer

設定メニューの使用

設定 メニューを使用して、スマートペンの様々な設定を表示・変更することができます。

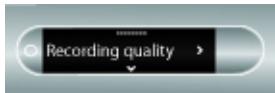
1. ナビプラスの中央  をダブルタップして、**メインメニュー**に移動します。

2. **設定** が表示されるまで下矢印  をタップします。



3. 右矢印  をタップして、**設定**を選択します。

4. 下矢印  や上矢印  をタップして、設定項目のリストをスクロールします。



右矢印  をタップして、オプションを選択します。

5. 下矢印  や上矢印  をタップして、設定オプション・リストをスクロールします。



6. 右矢印  をタップして、オプションを選択します。オプションを起動すると、スマートペンのディスプレイに確認メッセージがスクロールで表示され、ディスプレイには、現在選択されているオプションの隣にチェックマークが表示されます。

7. 他の設定を選択するには、左矢印  をタップして、設定リストに戻ります。

8. 左  を再びタップするとオプションリストに戻り、異なるオプションを選択できます。

設定メニューの概要

スマートペンの様々な設定が、設定メニューで設定可能です。

設定	種類	
音声品質	高、中、低	
マイク感度	会議室、講堂、自動	

設定	種類
再生遅延	オン、オフ
メニュー音声	オン、オフ
ディスプレイの明るさ	100%, 90%, 75%, 50%, 10%
ディスプレイの向き	右利き用、左利き用
スクロールの速度	1 から 10 (1 が最低速、10 が最高速)
日付の形式	mm.dd.yy (月.日.年)、dd.mm.yy (日.月.年)、yy.mm.dd (年.月.日)
時刻の形式	12 時間制、24 時間制
自動オフの時刻	30 分、1 時間 (初期設定)、2 時間、4 時間
言語	英語 (English)、フランス語 (français)、イタリア語 (Italiano)、ドイツ語 (Deutsch)、スペイン語 (español)、韓国語 한글어、繁體字中國語 (繁體中文)、マレー語 (Bahasa Malaysia)、アラビア語 (العربية)、日本語、ポルトガル語 (Português)、トルコ語 (Türkçe)、オランダ語 (Nederlands)

設定メニューでスマートペンの設定を設定するときは、次の表をリファレンスとして使用してください。

設定メニューを使用したスマートペンの自動オフ時刻の設定

初期設定では、スマートペンを 1 時間使用しないと、電源がオフになります。音声の録音 (スマートペンを動かしていなかったとしても)、音声の再生、または書き込みをしている場合は、スマートペンは自動的にオフにはなりません。**自動オフ**機能が起動する前には、スマートペンを停止状態 (録音や書き込みをしていない状態) にしておく必要があります。

自動オフを起動すると、あらかじめセットした時間が経過すれば、スマートペンの電源がオフになります。スマートペンが自動的にオフになるまでの時間の長さを、30 分、1 時間、2 時間、4 時間から選択して設定できます。

1. 設定メニューから、**自動オフ時刻**オプションを選択します。
2. 希望する時刻を選択して、右矢印  をタップします。

自動オフ時間設定は、設定を変更するか、スマートペンが完全にリセットされるまで持続します。

設定メニューを使用したスマートペン名称の確認

エコー・デスクトップを使用してスマートペンに名前をつけた場合、スマートペンの電源をオンにしたときに名前を確認できます。また設定メニューを使用してスマートペンの名称を確認できます。

設定メニューからスマートペン名称オプションを選択します。

スマートペンは名前を表示します。

設定メニューを使用したメニュー音声の有効化または無効化

スマートペンは、メニュー音声を使用して、メインメニューとアプリケーション・メニューの項目を音声で知らせます。

1. メニュー音声を有効または無効にするには、**設定**メニューを使用して、**メニュー読み上げ**オプションを選択します。
2. オンまたはオフを選択します。

メニュー読み上げを無効にしても、ペーパー リプレイ オーディオやその他のスマートペン サウンドには影響しません。

日付と時刻の設定

スマートペンの日付と時刻を設定することができます。



重要 スマートペンに正確な日付と時刻の設定を行うことはとても重要です。ペーパーリプレイは、設定した日時を使用してオーディオ録音に名前を付けます。

日付の設定

1. 専用ノートの表紙裏を開き、**Settings** エリアを探します。
2. スマートペンを使用して、**set date** ボタン  をタップします。
3. DATE AND TIME にあるキーパッドをタップして、現在の日付を入力します。
103114 とタップすると、mm/dd/yy (月 / 日 / 年) の日付の形式で、2014 年 10 月 31 日 (金曜日) に設定されます。

日付の入力を間違えた場合は、Set dateボタンを再度タップしてもう一度やり直します。

スマートペンには、入力した日付が表示されます。

日付の形式の設定

初期設定では、スマートペンの日付は mm/dd/yy (月 / 日 / 年) の形式で表示されます。この形式は、日付の設定前でも設定後でも変更することができます。

1. **設定**メニューを使用し、**日付の形式**オプションに移動します。
2. mm/dd/yy、dd/mm/yy、yy/mm/dd の中から選択します。

DATE ボタンを使用した日付の確認

1. 専用ノートの表紙裏を開き、**Settings** エリアを探します。
2. **date** ボタン  をタップします。

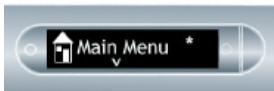
スマートペンには現在の日付が表示されます。



クイック・コマンドを使用した日付の確認

- ナビプラスの中央  をダブルタップします。

スマートペンには、**メインメニュー**のクイック・コマンド受付中のマークが表示され、クイック・コマンドの書き込みの待機状態になります。



- 3秒以内に「日付」という単語を書きます。

テキスト予測機能により、スマートペンはクイック・コマンドの入力内容に一致する最初のコマンドを表示します。この場合は、「日」と書くとすぐに「日付」が表示されます。ディスプレイにコマンドが確認できれば、それ以上書かずに止めて起動できます。



- ナビプラスの右矢印  をタップするか、専用ノート上をダブルタップします。

スマートペンには日付が表示されます。

クイック・コマンドを作成すると、それは、タップしてアプリやコマンドを繰り返し実行できるアクティブ・ボタンになります。これは、作成した起動ラインショートカットにも当てはまります。

時刻の設定

- スマートペンを起動します。
- 専用ノートの表紙裏を開き、**Settings** エリアを探します。
- ノート上で、スマートペンを使用して **set time** ボタン  をタップします。
- DATE AND TIME にあるキーパッドをタップし、“hh:mm”(時:分)の形式で時間を入力します。“AM”または“PM”ボタンをタップして、午前と午後のいずれかを選択します。たとえば、12:01 PMと入力するには、“1”、“2”、“0”、“1”、“PM”と、ボタンをタップします。

誤った時刻を入力した場合は、**set time** ボタンを再度タップして、最初からやり直します。

スマートペンには、入力した時刻が表示されます。

時刻の形式の設定

1. 設定メニューを使用して、**時間の形式**オプションに移動します。
2. **12 時間**または**24 時間**のいずれかを選択します。

TIME ボタンを使用した時刻の確認

1. 専用ノート (Livescribe ドットペーパー) の表紙裏を開き、**Settings** エリアを探します。

2. time ボタン  をタップします。

スマートペンは現在の時刻を表示します。

クイック・コマンドを使用した時刻の確認

クイック・コマンドを使用して、時刻の確認をすることができます。

1. ナビプラスの中央の  をダブルタップします。ダブルタップとは、素早く 2 回連続でタップすることです。

スマートペンには、**メインメニュー** のクイック・コマンド受け付け中のマークが表示され、クイック・コマンドの書き込みの待機状態になります。



2. 3 秒以内に「時間」という単語を書きます。

テキスト予測機能により、スマートペンはクイック・コマンドの入力内容に一致する最初のコマンドを表示します。この場合は、「時」と書くとすぐに「時間」が表示されます。ディスプレイにコマンドが確認できれば、それ以上書かずに止めて起動できます。

3. ナビプラスの右矢印  をタップするか、専用ノートのどこかをダブルタップします。

スマートペンには、時刻が表示されます。

クイック・コマンドを作成すると、それは、タップしてアプリやコマンドを繰り返し実行できるアクティブ・ボタンになります。これは、作成した起動ラインショートカットにも当てはまります。

スマートペンのディスプレイ設定

スマートペン画面に適用できる設定がいくつかあります。

画面の明るさを設定する

BRIGHTNESS ボタンを使用したディスプレイの明るさの調整

1. いくつかの専用ノートには、 brightness ボタンがついています。専用ノートを見て、 Settings エリアに brightness ボタンがあるか確認して下さい。ボタンがある場合は、以下の操作を行います。
2. **Brightness** ボタン  をタップします。
3. 何回かタップして、ディスプレイの明るさの設定をスクロールします。明るさの段階には、 100%、 90%、 75%、 50%、 10% があります。最も低い明るさ設定は、話し手がスライドショーのプレゼンテーションを行う場合のように、暗い部屋環境で最適です。

設定メニューを使用したディスプレイの明るさの設定

1. 設定メニューを使用して、ディスプレイの明るさオプションに移動します。
2. 明るさを選択します。

明るさの段階には、 100%、 90%、 75%、 50%、 10%、 0% があります。最も低い明るさ設定は、話し手がスライドショーのプレゼンテーションを行う場合のように、暗い部屋環境で最適です。

画面の向きを設定する

LEFT HANDED ボタンまたは RIGHT HANDED ボタンを使用したディスプレイの向きの設定

右利き用または左利き用で使用するために、スマートペンのディスプレイを設定することができます。適切なボタンをタップして、ディスプレイの向きを設定します。

1. スマートペンを起動します。
2. 専用ノートの表紙裏を開き、 **Settings** エリアを探します。
3. **Settings 設定** で、 左または右ボタン   をタップして、左利き、または右利きで使用するためにディスプレイの向きを設定します。

設定メニューを使用したディスプレイの向きの設定

1. 設定メニューを使用して、ディスプレイの向きオプションに移動します。
2. 右利き、または左利きのいずれかを選択します。

スクロール速度を設定する

SCROLL SPEED ボタンを使用したスクロールの速度の設定

テキストの長さがスマートペンのディスプレイに収まらないほど長いと、テキストが横にスクロールします。スクロールの速度の設定を使用して、文字がスクロールする速さを上下することができます。

- スクロール速度を上げるには、 ボタンをタップします。
- スクロール速度を下げるには、 ボタンをタップします。
- 1 10 の範囲で必要な速度になるまでタップします。一番遅い速度は 1 で、一番速い速度は 10 です。

設定メニューを使用したスクロールの速度の設定

1. 設定メニューを使用して、スクロールの速度オプションへ移動します。
2. 必要な速度を 1 から 10 の間で選択します。

スマートペンの言語の変更

設定メニューのロケールコマンドを使用して、スマートペン画面およびオーディオ指示の言語を変更できます。

設定メニューを使用した言語の変更

他の言語に切り替えると、設定した言語に応じてスマートペンの以下の内容が変更されます。

- メニューやその他のディスプレイの指示など、設定した言語に応じて変化するテキストの言語
- アプリの名称や音声指示など、設定した言語に応じて変化する音声の言語
- 日付の形式
- 時間の形式
- 数字の形式

1. 設定メニューを使用して、言語オプションに移動します。
2. 利用可能な言語を選択します。

言語のリストには、英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、韓国語、繁體字中国語、マレー語、アラビア語、日本語、ポルトガル語、トルコ語、オランダ語があります。

3. 指示に従い、右矢印を再度タップして、スマートペンを再起動します。

スマートペンを再起動した後は、選択した言語が初期設定として動作します。日本語以外の言語から日本語に戻すには「日本語ランゲージカード」を使用してください。

一部の Livescribe ドット ペーパーには印刷されたコントロールも用意されているので、これらを使って言語を切り替えることができます。

専用ノートの管理

Livescribe 社は、スマートペン用のノート、ジャーナル、フリップノートなどのドットペーパー製品を販売しています。これらの製品はすべて Livescribe ドットペーパーです。

専用ノートの使用に関して

スマートペンがどのように専用ノートと相互作用しているかを理解するのは、非常に難しいことです。でも、すべての動作を知る必要はなく、次のことを覚えておけば十分です。

- 新しい専用ノートを使用する前に、ステータス・ラベルをタップします。既に同じ番号のノートを使用しているとアナウンスがあった場合は、最初にエコー・デスクトップでアーカイブして下さい。
- 同じ名称と番号の専用ノートを持っている場合は、連続して使用します。
- Livescribe ドットペーパー製品を使用し終わったら、それをアーカイブします。

専用ノートの使用状況の確認

各専用ノートには、ステータス・ラベルがあります。同じドットパターンの専用ノートが使用中かどうか把握するには、ステータス・ラベルを使用するのが最適な方法です。



1. 新しい専用ノートを使うときは、スマートペンでステータス・ラベルをタップします。
2. スマートペンのディスプレイには、同じドットパターンの他の専用ノートを使用しているかどうかが表示されます。使用している場合は、新しい専用ノートの使用前に、古い専用ノートをアーカイブして下さい。
3. 特定の専用ノートが使用できるようになる前に、スマートペンのアップデートが必要な場合があります。その場合は、ステータス・ラベルをタップすると、スマートペンのディスプレイにアップデートメッセージが表示されるので、スマートペン ソフトウェアを手動でアップデートするには、次の操作を行います。

専用ノートのアーカイブ

専用ノートを使い終わったら、ノートをエコー・デスクトップでアーカイブする必要があります。

専用ノートのアーカイブは、以下の手順で実行されます。

- スマートペンの内蔵メモリーの空き領域を確保します。
- アーカイブした専用ノートと同じドットパターンの他の専用ノートが使用できるようになります。同じドットパターンの専用ノートは、同じ名称です。
- 専用ノートのメモと音声を、エコー・デスクトップのライブラリ・パネルにあるアーカイブノートブック・フォルダに移動します。アーカイブしたメモと音声は、アーカイブしていない専用ノートと同様に、エコー・デスクトップ内では再生可能な状態を保ちます。
- スマートペンからメモ(文字と絵のデータ)と音声を削除します。これにより、スマートペンはアーカイブした実物の専用ノートでは再生できなくなります。アーカイブした実物の専用ノートのメモをタップしても、音声は再生されません。



重要 専用ノートを使い終えて、保管しておけるようになるまでは、ノートをアーカイブしないで下さい。未使用なページが残り、それを新しいノートの一部として扱う場合を除き、専用ノートをアーカイブした後で、アーカイブを行った実物のノートの書き込みを再開しないで下さい。例えば、途中まで使用したノートをアーカイブし、残りのページを2冊目のノートとして使用することはできます。複数のコンピューターを使用してスマートペンデータを管理する場合は、これらのすべてのコンピューターにノートブックをアーカイブ化してください。

専用ノートの名称について

専用ノートは、グループ(横罫の専用ノートなど)と番号(1から8)により識別されます。同じグループと番号のノートは、同じドットパターンです。

専用ノートは、形式(横罫、罫無、方眼など)のグループと種類(ノート、ジャーナル、メモパッドなど)に分類されます。

さらに、各ノートは数字で識別されます。ひとつのグループで、同じ番号のついた専用ノートは、同じドットパターンです。違う番号のついた専用ノートのドットパターンは異なります。現在、グループ内の番号は1から8です。

同じ名称と番号のついた専用ノートの使用

同じグループと名称の専用ノート(たとえば、2冊の横罫ノート3など)を持っている場合、以下の指針に従って下さい。

- 一度に 1冊の専用ノートのみを使用します。同じドットペーパー製品 2冊を、同時に使用しないで下さい。
- 2冊目のドットペーパー製品の使用前に、1冊目のドットペーパー製品を、エコー・デスクトップを使用してアーカイブします。

例えば、同時に 2冊の横罫ノート 1 を使用しないで下さい。その代わりに、横罫ノート 2 または 3 など、番号の違う横罫ノートを使用します。

すべての番号の横罫のノートを使い終わったら、未使用的横罫ノート 1 を次のノートとして使い始めることができます。そうするためには、最初の横罫ノート 1 をアーカイブします。それから、2冊目の横罫ノート 1 にスマートペンを使用できます。

パッケージ販売されている専用ノートは同じグループです。例えば、横罫ノートは 4 冊入りのパッケージです (ノート 1 から 4 および 5 から 8)。

2冊以上の横罫ノート入りのパッケージを購入する場合は、ノートの表紙の番号が異なることを確認して下さい。たとえば、ノート 1~4 のセットを購入して使用した後で、別のノート 1~4 を購入して下さい。ノート 5~8 のセットについても同様です。

同じ番号方式のパッケージを 2つ購入すると、パッケージには同じドットパターンのノートが入っています。その場合、以下の指針に従って下さい。

- 1つ目のパッケージの専用ノートをすべて使用してから、2つ目の使用を開始します。
- 最初のパックを使い終わったら、最初のパックの各ノートブックをアーカイブ化した後に、2つ目のパックを使い始めます。

専用ドットペーパー製品の使用

標準のノートブックとジャーナルの他に、Livescribeは付箋やサウンドステッカーなど、特殊な Livescribe ドット ペーパー製品も販売しています。

スティックynoteについて

スティックynoteは、ふせん紙(裏側に何度も貼り付けられる部分のある小さな紙)の使いやすさと便利さを備えており、専用ノートの機能も追加されています。

短いメモリスト、リマインダーをすぐに取り込み、同時に音声を追加できます。スティックynoteを印刷物、雑誌、本のページに貼り、思いついたことなどを自分用のメモとして書き加えます。スティックynoteをデスクトップ・コンピュータに転送し、整理したり、検索したり、他の人と共有したりすることができます。



スティックynoteには、使い慣れたナビプラスとペーパーリプレイ・ボタンが備わっています。ノートの下部に印刷されています。ノートの上部には、ホームボタンとショートカットボタンがついています。ホームボタンとショートカットボタン.

ホームボタンは使用中のスマートペン・アプリを停止し、既定のホームのディスプレイに戻ります。



この 3 つのショートカットボタンには、ショートカットを割り当てられる機能が備わっています。

ステイッキーノートのパッケージとパッドの使用

ステイッキーノートの各パッドには 75 枚のシートがあります。パッドは 6 冊入りのパッケージで販売され、そのうちの 3 冊は 76 mm × 76 mm サイズ、残りの 3 冊は 76 mm × 127 mm サイズです。一度に 1 つのパッケージのみを使用します。

スマートペンは一度に 6 冊までのパッドを管理できます (ステイッキーノート 76 mm × 76 mm パッド 1、2、3 およびステイッキーノート 76 mm × 127 mm パッド 1、2、3)。6 冊のパッドを使い終わったら、エコー・デスクトップを使用してアーカイブしてから、新しい 6 冊のパッケージを使用します。別の 6 冊入りのパッケージから同じ番号のパッドを取り出して使用しないで下さい。スマートペンが同じパッドとして認識してしまうからです。

1. パッケージのパッドをすべて使いります。
2. パッドをアーカイブします。
3. 新しいパックを開きます。

サウンドステッカー

サウンドステッカーは、音声記録の録音と再生用の小さいステッカーです。

サウンドステッカーは、特に教育現場でよく使用されています。いくつかの使用方法を以下に示します。

教師の録音内容

- 本 (親から子へ、教師から生徒へ、生徒同士で、または著名人の朗読会で)
- インタラクティブ・フラッシュカードやフリップカード
- ワードウォール (言葉やメッセージを教室の壁一面に貼りつけたもの)
- 指示または質問を録音したトーキング・テストやクイズ

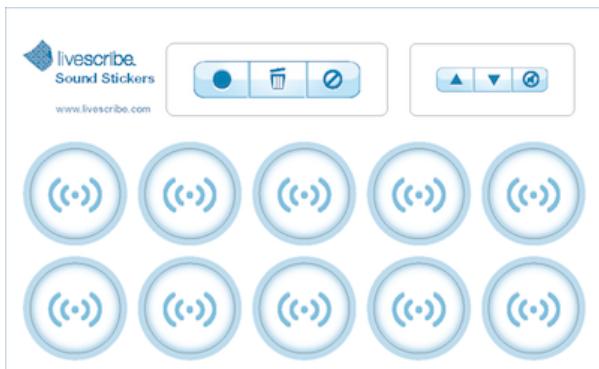
学生の録音内容

- 流暢さまたはスピーチの評価および試験
- 注釈つきの芸術課題、口述のレポート、書評

各サウンドステッカーには以下のものが含まれます。

- サウンドステッカー
- 音量とミュートの操作アイコン

- 音声の録音、録音データの削除、キャンセルを含む、ステッカーを管理する操作アイコン



サウンドステッカーのガイドライン

サウンドステッカーの使用時に従う一般的なガイドラインがあります。

スマートペンは、一度に 1 パッケージのサウンドステッカーに対応できます。複数のパッケージのステッカーを同時に使用しないで下さい。スマートペンがそれらを同じステッカーとして認識してしまうからです。

サウンドステッカーには、強い粘着性があり、接着状態を保つように作られています。最適な方法で使用するには、常に使用前に、ステッカー 1 枚を使い、貼り付ける表面の材質をテストして下さい。

サウンドステッカーには、ステッカーにのみ動作する専用の操作があります。サウンドステッカーは、ペーパーリプレイを含む他のアプリでは動作しません。他の Livescribe ドットペーパーにあるコントロールたとえば録音、停止、ジャンプなどは、サウンドステッカーでは機能しません。

ステッカー用の音声の録音

1. **Record** ボタンをタップして、録音セッションを開始します。

スマートペンのディスプレイには、「ステッカーをタップして録音を開始します」と表示されます。

2. ステッカーをタップします。

スマートペンのディスプレイには、「録音を開始します。ステッカーをもう 1 度タップして録音を終了します」と表示されます。

3. ステッカー用の音声を録音します。

4. ステッカーをもう 1 度タップして録音を終了します。

スマートペンのディスプレイには、「録音完了」と表示されます。

5. 変更を取り消したい場合は、「**キャンセル**」ボタンをタップするか、Livescribe ドットペーパー ページをタップするか、標準のペーパーリプレイ コントロールをタップします。

ワンステップ録音

Recordボタンを使用せず、その代わりにタップ・アンド・ホールド録音ができます。

1. 詳細設定メニューの**ワンステップ録音** オプションを変更します。
2. サウンドステッカーをタップして、2秒間押さえます。

録音が開始されます。

3. ステッカー用の音声を録音します。
4. もう1度ステッカーをタップして、録音を終了します。

スマートペンの画面に「録音完了」と表示されます。

音声の再録音 (上書き録音)

サウンドステッカーは、安全上の予防措置として、既に録音されたデータへの録音を禁止しています。既存の録音に上書きして録音するには、最初に録音データを削除して、もう1度録音します。

既存の録音の上に直接録音したい場合は、詳細設定メニューにある上書きオプションを変更することができます。

ステッカーの音声の再生

ステッカーへ録音された音声は、再生、一時停止、巻き戻しをすることができます。

1. 再生を開始するには、ステッカーをタップします。
2. 再生を一時停止するには、もう1度ステッカーをタップします。
3. 再生を再開するには、もう1度タップします。
4. 巻き戻して最初から再生するには、ステッカーをダブルタップします。

サウンドステッカーからの録音データの削除

1. **Delete** ボタンをタップします。

サウンドステッカーからの録音データの削除

2. 削除するステッカーをタップします。

スマートペンのディスプレイには、「このステッカーの音声は削除されます。

もう1度タップして確定します」と表示されます。

3. ステッカーをもう1度タップして確定します。

削除された録音データは永続的にスマートペンから削除されます。録音データはエコー・デスクトップに転送されず、スマートペンや他のデータソースにより復元できません。

スマートペンの画面に「オーディオが削除されました」と表示されます。

全ステッカーからの録音データすべての削除

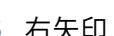
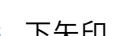
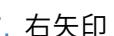
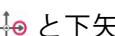
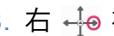
ステッカーからすべての録音データを削除することができます。

削除した録音データは永続的にスマートペンから削除されます。録音データはエコー・デスクトップには転送されず、スマートペンや他のデータソースで復元することはできません。

- 各ステッカーの録音データを個別に削除します。あるいは、
- **詳細設定**を使用して、すべてのステッカーを削除します。

詳細設定

詳細設定 メニューを使用して、録音方法の変更と、録音データの削除を行います。

1. ナビプラスの中央 をダブルタップして、メインメニューに移動します。
2. 下矢印 をタップして、**アプリケーション・メニュー**を表示します。
3. 右矢印 をタップして、最初の格納アプリを表示します。
4. 下矢印 をタップして、他のアプリをスクロールしてサウンドステッカーまでたどります。
5. 右矢印 をタップして、サウンドステッカーを選択し、起動します。
6. 下矢印 をタップして、**設定** メニューに移動します。利用可能なオプションを選択します。
7. 右矢印 と下矢印 をタップして、オプションをスクロールします。
オプションは、以下の通りです。
 - ワンステップ録音のオンとオフ
 - 上書き録音のオンとオフ
 - 全ステッカーの消去
8. 右 をタップしてオプションを選択したり変更したりします。

スマートペンのメンテナンスと安全性について

スマートペンを定期的に保守し、それを安全に使用する方法に心がけてください。

スマートペンのメンテナンス

- スマートペン専用替芯(インクカートリッジ)のみを使用して下さい。
- スマートペンを保護ケースに入れて持ち運んで下さい。
- スマートペンの重要なメモや音声は、頻繁にエコー・デスクトップに転送して下さい。これにより、コンピュータにバックアップ・コピーをとっておくことができます。また定期的にコンピュータのファイルのバックアップをとって下さい。
- スマートペンを定期的に使用して下さい。スマートペンには、取り外し不可能なリチウムイオン電池が搭載されています。長期間充電しないで放置すると、バッテリー容量が減少します。このような事態は、スマートペンを継続して使用し、2時間30分の完全な充電を毎月実施することにより防止できます。しばらくの間スマートペンを保管しておく必要がある場合は、保管する前に、十分な充電をして下さい。
- スマートペンを付属のマイクロ USB ケーブルや標準規格のマイクロ USB ケーブル以外で充電しないで下さい。(パルス・スマートペンは USB 充電ケーブルを使用します。)
- 最良の状態で使用するために、すべてのアップデートをインストールして、スマートペンのファームウェアを最新の状態にして下さい。
- スマートペンを極度に寒い環境に置いた場合は、電源を入れる前に数時間暖めて下さい。
- 低湿度の環境では静電気が発生し、高湿度の環境では結露が発生する可能性があります。どちらの場合もスマートペンに有害です。

スマートペンのクリーニング

以下の指示に正確に従って、スマートペンのクリーニングを行います。

1. 印刷されたノートの操作ボタンを使用しても、スマートペンの反応が鈍いか、反応のない場合、赤外線カメラレンズの部位が汚れている可能性があります。アルコールでふき取るか、綿棒を使用してレンズを丁寧にクリーニングして下さい。
2. スマートペンの外側は定期的に、少し水で濡らした清潔で柔らかい布でクリーニングします。クリーニング中はスマートペンに水をかけたり、水の中に入れたりしないで下さい。スマートペンに防水性はありません。スマートペン内部に水が

入ると、電子部品を損傷し保証が無効になってしまいます。スマートペンを湿った場所に置いたままにしないでください。

スマートペンの保管

スマートペンを長期間使用しない場合、スマートペンを保管・準備するための推奨事項は、以下の通りです。

- 保管場所に置く前に、各スマートペンをフル充電します。
- 乾燥した場所で、極端に暑い場所や寒い場所を避けてスマートペンを保管します。極度の暑さや寒さは電池の性能に悪影響を与える可能性があります。
- スマートペンと一緒にアクセサリーを保管して、アクセサリーを紛失しないようにしてください。

静電気放電 (ESD) の減少方法

静電気は、電子機器に放電すると損傷を与える可能性があります。静電気は素材の表面にある過剰な電子の蓄積によって起こる電荷です。少量の静電気でも回路に損傷を与える場合があるため、電子機器を作動させる場合は、静電気による損傷から機器を保護する対策を取ります。

ドッキングステーションをケーブルで接続する等、外部入力を行っている電子機器は静電気の影響を受けやすくなっています。身体に蓄積する静電気は、自然に電子機器に流れることから、携帯電話など持ち運べる電子機器は、静電気を蓄積する特性があります。その結果、電子機器をドッキングステーションのような別の機器に接続するときに、静電気の放電が起こり得ます。

以下は、静電気の蓄積が起こりやすい環境条件です。

- 相対的に低い湿度。
- 素材の種類 電荷を集めやすい素材の種類。例えば、合成繊維は綿などの天然繊維に比べ、静電気を蓄積しやすい。)
- 電子機器に触れたり、接続したり、接続を解除する速さ。
- 静電気に対し、常に適切な予防策を取る必要がありますが、静電気が発生している場所にいることに気付いた場合は、電子機器を保護するために、さらに注意する必要があります。

静電気放電の発生を減少させるために、以下のガイドラインに従って下さい。

- 電子機器に触れたり、電子機器を他の機器に接続したりする前に、身体と電子機器に蓄積された静電気を放出します。スマートペンをコンピュータに接続したり、

スマートペンをクレードルの上に置いたり、他のデバイスに接続したりする前に、この予防策をとることを推奨します。

- モバイル機器を持つとき、同時に、アースとなる金属の表面に触れ、静電気を放出します。例えば、コンピュータに、標準的な3極のアース付コンセントに差し込まれた金属製のケースがある場合、ケースに触ると身体から静電気を放出します。
- 使用環境の相対湿度を上げます。
- ESD 専用防止アイテム たとえば接地マットを使用します。

安全性について



注意 安全性に関する指示に従わない場合、発火、感電、あるいは怪我や故障の原因になる場合があります。

スマートペンの不適切な操作や保管は、破損の原因となります。スマートペンを落としたり、曲げたり、潰したり、変形させたり、穴をあけたり、解体したりしないで下さい。この指示に従わない場合、感電、怪我、スマートペンの物的損傷や故障の原因になる場合があり、また限定保証が無効になることがあります。また、スマートペンを適切に管理して、動作を保証することは非常に重要です。

- スマートペンを落としたり、強い衝撃を与えることなくして下さい。それによって、スマートペンに深刻な損傷を与えるか、適切に動作しない場合があります。
- スマートペンを潰されやすい場所(後ろポケット、バックパックの底部など)に置かないで下さい。
- 極度に高温や低温の場所にスマートペンを保管しないで下さい。涼しく、乾燥した場所に保管して下さい。
- 水などの液体にスマートペンを触れないようにして下さい。スマートペンに防水性や耐水性はありません。濡れた場所に放置しないで下さい。
- スマートペンを焼却処分しないで下さい。バッテリーが爆発または発火する可能性があります。スマートペンをごみ箱に捨てないで下さい。バッテリーが服慣れている製品は、地元の廃棄業者またはリサイクル業者に連絡して、お住まいの地域における正しい廃棄方法と場所を探してください。

警告

いかなる修理も自分で行わないで下さい。スマートペンを開け、分解し、バッテリーを取り外し、バッテリーの交換を自分で行わないで下さい。感電、発火、怪我、スマートペンの物的損傷や故障の原因となるおそれがあり、また、制限付き保証が無効にな

ります。スマートペン内部には、使用者が修理可能な部品はなく、スマートペンを開けると保証が無効になります。

聴力に関する警告 高音大音量の録音の再生に長時間さらされると、聴力損失のおそれがあります。イヤホンやヘッドホンを使用する場合、中程度のボリュームで録音データを聞くことを推奨します。ボリュームを安全なレベルに設定して下さい。一般的な目安として、録音された音声は、あなたに他の人が話しかけるのが聞こえなくなるほど大きな音にすべきではありません。

バッテリーを取り出さないで下さい。 充電バッテリーは取り出すことができず、取り外したり、入れ替えたり、触れたりできません。バッテリーの構成物は飲み込むと危険です。電池に使用される技術は可燃性で、消火には化学性の難燃剤または砂が使用されます。水は使用しないで下さい。バッテリーが漏れたら、その液体を肌や目と接触しないようにして下さい。肌や目に触れてしまった場合は、大量の水で触れた部分を洗い、すぐに医療機関に相談して下さい。



注意 バッテリーを切断したり、穴をあけたり、焼却処分したりしないで下さい。バッテリーは破裂したり爆発したりして、危険な化学物質を放出するおそれがあります。製造元の指示や地域の規制に従って、使用済みのバッテリーを破棄して下さい。

Varning:Eksplorationsfara vid åtlaktigt batteribyte.Använd samma batterityp eller en ekvivalent typ som rekommenderas av apparattillverkaren.Kassera använt batteri enligt fabrikan-tens instruktion.

Advarsel!Lithiumbatteri—Eksplorationsfare ved fejlagtig håndtering.Udskiftning må kun ske med batteri af samme fabrikat og type.Levér det brugte batteri tilbage til leverandøren.

Varoitus:Paristo voi räjähtää, jos se on virheellisesti asennettu.Vaihda paristo ainoastaan valmistajan suosittelemaan tyyppiin.Hävitä käytetty paristo valmistajan ohje-iden mukaisesti.

Advarsel:Eksplorationsfare ved feilaktig skifte av batteri.Benytt samme batteritype eller en tilsvarende type anbefait av apparatfabrikanten.Brukte batterier kasseres i henhold til fabrikantens instruksjoner.

Waarschuwing!Bij dit produkt zijn batterijen geleverd.Wanneer deze leeg zijn, moet u ze niet weggooien maar inleveren als KCA.

スマートペンの内蔵メモリーの管理

スマートペンに保存されているデータやアプリケーションを表示および管理できます。

STORAGE ボタンを使用したスマートペンの内蔵メモリーの確認

1. スマートペンを起動します。
2. 専用ノートには storage ボタンがついているものがあります。専用ノートを見て、**Settings** エリアに storage ボタンがあるか確認します。ボタンがある場合は、以下の手順を実行します。



3. storageボタン を 1 度タップして、内蔵メモリーの空き容量をメガバイト単位で確認します。
4. もう 1 度タップして、現在の音声 (録音) 品質設定に基づいた録音時間残量を確認します。

使用可能な領域が 1 MB 未満の場合、スマートペンは内蔵メモリーの容量を KB 単位で表示します。



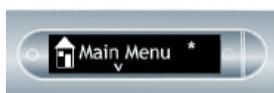
ディスプレイの右端に、円で囲まれた感嘆符のサイン (マーク) が表示される場合は、すでに容量がいっぱいのため、スマートペンで使用できる内蔵メモリーの容量を確認して下さい。



クイック・コマンドを使用したスマートペンの内蔵メモリーの確認

1. ナビプラスの中央 をダブルタップします。

スマートペンには、**メインメニュー**でクイック・コマンド受け付け中のマークが表示され、クイック・コマンドの書き込みの待機状態になります。



2. 3 秒以内に「記憶容量」という単語を書きます。

テキスト予測機能により、スマートペンは、クリック・コマンドの入力内容に一致する最初のコマンドを表示します。この場合は、「記」と書くとすぐに、「記憶容量」がディスプレイに表示されます。ディスプレイにコマンドが確認できれば、それ以上書かずに止めて起動できます。

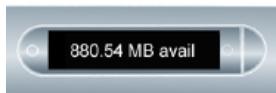


3. ナビプラスの右矢印 をタップするか、専用ノートのどこかをダブルタップします。

使用できる領域が 1 MB 未満の場合、スマートペンは容量を KB 単位で表示します。

ディスプレイの右端に円で囲まれた感嘆符のサイン（マーク）が表示される場合は、すでに容量がいっぱいなので、スマートペンで使用できる内蔵メモリーの容量を確認して下さい。

使用可能な内蔵メモリーの容量が表示されます。



クリック・コマンドを作成すると、それは、タップしてアプリやコマンドを繰り返し実行できるアクティブ・ボタンになります。これは、作成した起動ラインショートカットにも当てはまります。

スマートペンからの音声録音データの削除

内蔵メモリーの管理などの理由により、スマートペンからセッションを削除したい場合は、メモをエコー・デスクトップに転送してから、スマートペンのペーパーリプレイ・セッションを削除することを推奨します。

スマートペンからセッションを削除すると、そのファイルにリンクされているメモは、それ以前の書き込みにリンクされていたペーパーリプレイ音声を再生できません。しかし、エコー・デスクトップにメモを転送しておけば、コンピュータからメモの再生を続けることができます。



注 スマートペンとエコー・デスクトップの両方からセッションを削除した後は、セッションを復元することができません。セッションを削除しても、スマートペンに保存されているノートに影響を与えることはありません。ノートをアーカイブするまで、セッションはスマートペンに保存されます。

スマートペンからペーパーリプレイ・セッションを削除するにはいくつかの方法があります。

- エコー・デスクトップを使用して、スマートペンのセッションを削除します。
- ドットペーパー製品をアーカイブします。これにより、そのドットペーパー製品用のスマートペンからすべてのペーパーリプレイ・セッションが削除されます。
- スマートペンの**メインメニュー**を使用します。
- 「現在のセッションを削除」ショートカットを使用して、最後にアクセスしたセッションを削除する。

ナビプラスを使用したスマートペンからの音声録音データの削除

1. ナビプラスの中央 をダブルタップして、**メインメニュー**に移動します。



2. 下矢印 をタップして、ペーパーリプレイが表示されるまで、スマートペンのアプリをスクロールします。



3. 右矢印 をタップして、ペーパーリプレイを起動します。
4. 下矢印 をタップして、メニューからセッションの削除までたどります。



5. 右矢印 をタップして、セッションを閲覧します。
6. 下矢印 をタップして、セッションのリストをスクロールします。



7. 削除するセッションまでたどります。



8. 右矢印  をタップして、選択します。

9. 右矢印  をタップして、削除を確認します。



スマートペンには、セッションが削除されたことが表示されます。

クイック・コマンドによる直前の音声録音データの削除

クイック・コマンドを使用して、直前のセッションを削除できます。ここで、直前のセッションとは、直前にアクセスしたセッションのことです。すなわち、直前に再生、または、録音されたセッションです。

1. ペーパーリプレイの **停止** ボタンをタップして、3秒間押さえます。スマートペンは、再度タップして現在のセッションを削除するよう促します。
2. **停止** を再度タップして、削除を確認します。



スマートペンの保証とコンプライアンス

Livescribe はスマートペンに対して保証を提供し、業界準拠規格をサポートしています。

WARRANTY

LIMITED WARRANTY. Livescribe warrants the smartpen to be free from defects in materials and workmanship under normal use for a period of one year from the date of original direct or retail purchase. This warranty is void if the product has been damaged by accident or unreasonable use, immersion in water, neglect, abuse, improper maintenance, or other causes not arising out of defects in workmanship or materials of the product. All warranty claims are subject to: (1) you notifying Livescribe of the warranty claim within the warranty period, (2) Livescribe verifying the existence of a defect in the product and (3) receipt of valid proof of your purchase and the date of your purchase. Your exclusive remedy shall be, at Livescribe's option, to have it repaired or receive a replacement smartpen. Before returning the smartpen, please contact the Livescribe Customer Service Department for instructions.

In the event that a product under warranty is repaired or replaced, the replacement will be covered under the original warranty or for 30 days, whichever is longer. Repair or replacement is your exclusive remedy, and Livescribe's exclusive liability, under this warranty.

THE LIMITED WARRANTY SET FORTH HEREIN IS THE ONLY WARRANTY MADE TO YOU AND IS PROVIDED IN LIEU OF ANY OTHER WARRANTIES (IF ANY) CREATED BY ANY DOCUMENTATION OR PACKAGING. THIS LIMITED WARRANTY GIVES YOU SPECIFIC LEGAL RIGHTS.

DISCLAIMER OF WARRANTIES. YOU EXPRESSLY ACKNOWLEDGE AND AGREE THAT USE OF THE ECHO DESKTOP SOFTWARE, SMARTPEN AND OTHER PRODUCTS AND SERVICES IS AT YOUR SOLE RISK AND THAT THE ENTIRE RISK AS TO SATISFACTORY QUALITY, PERFORMANCE, ACCURACY AND EFFORT IS WITH YOU. EXCEPT FOR THE LIMITED WARRANTY SET FORTH ABOVE AND TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW, THE ECHO DESKTOP SOFTWARE, SMARTPEN, PRODUCTS AND SERVICES ARE PROVIDED "AS IS", WITH ALL FAULTS AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, AND LIVESCRIBE AND LIVESCRIBE'S LICENSORS (COLLECTIVELY REFERRED TO AS "LIVESCRIBE") HEREBY DISCLAIM ALL OTHER WARRANTIES AND REPRESENTATIONS, EITHER EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, OF SATISFACTORY QUALITY, OF FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OF ACCURACY, OF QUIET ENJOYMENT, AND

NON-INFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS.LIVESCRIBE DOES NOT WARRANT AGAINST INTERFERENCE WITH YOUR ENJOYMENT OF THE ECHO DESKTOP SOFTWARE, SMARTPEN, PRODUCTS OR SERVICES, THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN THE ECHO DESKTOP SOFTWARE, SMARTPEN, PRODUCTS OR SERVICES WILL MEET YOUR REQUIREMENTS, THAT THE OPERATION OF THE ECHO DESKTOP SOFTWARE, SMARTPEN OR SERVICES WILL BE UNINTERRUPTED OR ERROR-FREE, OR THAT DEFECTS IN THE ECHO DESKTOP SOFTWARE, SMARTPEN OR SERVICES WILL BE CORRECTED. NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY LIVESCRIBE OR ANY LIVESCRIBE AUTHORIZED REPRESENTATIVE SHALL CREATE A WARRANTY.SHOULD THE ECHO DESKTOP SOFTWARE, SMARTPEN, OR SERVICES PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE ENTIRE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

LIMITATION OF LIABILITY.TO THE EXTENT NOT PROHIBITED BY LAW, IN NO EVENT SHALL LIVESCRIBE BE LIABLE FOR PERSONAL INJURY, OR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES WHATSOEVER, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, LOSS OF DATA, BUSINESS INTERRUPTION OR ANY OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, ARISING OUT OF OR RELATED TO YOUR USE OR INABILITY TO USE THE ECHO DESKTOP SOFTWARE, SMARTPEN, OR SERVICES, HOWEVER CAUSED, REGARDLESS OF THE THEORY OF LIABILITY (CONTRACT, TORT OR OTHERWISE) AND EVEN IF LIVESCRIBE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.In no event shall Livescribe's total liability to you for all damages (other than as may be required by applicable law in cases involving personal injury) exceed the amount of fifty dollars (\$50.00).

上記の救済が本質的目的を達成できない場合でも、前述の制限が適用になります。

(1) このデバイスは有害な干渉を発生せず、かつ (2) このデバイスは望ましくない動作を発生させる可能性のある干渉を含む、受信したすべての干渉を受け付けなければならない。

US FCC STATEMENT

This device complies with part 15 of the FCC rules.Operation is subject to the following two conditions:(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules.These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful

interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.
- The use of shielded I/O cables is required when connecting this equipment to any and all optional peripheral or host devices. Failure to do so may violate FCC rules. Shielded I/O cables are available for the smartpen from Livescribe.

Changes or modifications not covered in this Guide must be approved in writing by the manufacturer's Regulatory Engineering Department. Changes or modifications made without written approval may void the user's authority to operate this equipment.

Responsible Party:

Livescribe Inc
7677 Oakport Street, 12th Floor
Oakland, CA 94621
United States of America
(510) 777-0771



CANADIAN, INDUSTRIE CANADA ICES-003 STATEMENT

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Réglement sur le matériel brouilleur du Canada.

CE DECLARATION OF CONFORMITY

Manufacturer and EU Responsible Party:

Livescribe Inc
7677 Oakport Street, 12th Floor
Oakland, CA 94621
United States of America
(510) 777-0771

CE

This product was tested by Livescribe Inc. and found to comply with all the requirements of the EMC Directive 2004/108/EC.

This device conforms to the following standards:

EN 55022:2010; CISPR 22 as amended, (Class B Radiated and Conducted Emissions)

EN 55024:2010; CISPR 24 as amended, (Emissions and Immunity, as applicable)

EN60950-1 and IEC 60950-1, Information technology equipment.Safety.

This device conforms to the following standards:

AS/NZS CISPR22:2009

VCCI V-3 /2011.04

REACH REGULATION

REACH is the Regulation for Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals, which went into effect on June 1, 2007 to streamline and improve the former legislative framework for chemicals of the European Union (EU).

Thresholds and Substances of Very High Concern (SVHC) are defined in Article 7 and 57 of Regulation (EC) No 1907/2006 of the European Parliament and of the Council of 18 December 2006.

ROHS コンプライアンス

Livescribe 社は本製品が、RoHS 2 (特定有害物質の使用制限指令 RoHS 2011/65/EU) とその修正版の要件に準拠していることを確認しています。詳細については、Livescribe までご連絡ください アドレスは上記を参照。

UL

Use only with Listed ITE.

This device conforms to the following standards:UL60950-1、初版

用語集

3D録音ヘッドセット

360 度の遠距離からの音声を捉え、周囲を取り巻く音の風景を 3D 録音するマイクが組み込まれたイヤホン。マイク付き専用ヘッドセット

Livescribe+

ライブスクライプPDFを再生する Apple社製の携帯端末 iPhoneやiPad等 用のモバイル・アプリ。音声再生に同期してメモの色が変化する。

Livescribe 社のエコー・スマートペンとパルス・スマートペン

高度な処理能力、音声と視覚フィードバック、大容量の内蔵メモリーを備えたペン型コンピュータ。スマートペンは、手書きのメモをデジタル化して取り込むと共に、スマートペン・アプリのペーパーリプレイを使用して音声を録音することができる。

Livescribe ドットペーパー

マイクロ・ドットが印刷された用紙で、スマートペンとの双方向のやりとりを可能にする。マイクロ・ドットにより、スマートペンはページの位置に対応して認識し、手書きのメモと録音した音声をリンクすることができる。

USB

ユニバーサル・シリアル・バス。プリンターやスマートペンなどの周辺機器と、パソコンとを接続する有線接続の標準規格。

USB モバイル充電ケーブル

Livescribe スマートペンを充電したりコンピューターに接続したりするためのケーブル。

アーカイブ

専用ノートやその他のドットペーパー製品にあるノートや音声を、ナビゲーション・パネルのアーカイブノートブック・フォルダに移動するプロセス。このプロセスはまた、メモ(文字や絵)や音声をスマートペンから削除する。このために、アーカイブを行った実物の専用ノートには、スマートペンが反応しなくなる。

アップデート

エコー・デスクトップを通して、最新版のソフトウェアまたはファームウェアを、コンピュータまたはスマートペンにインストールすること。

アップロード

ウェブなどの遠隔地へデータを送信すること。

インク

専用ノートやその他の Livescribe ドットペーパー製品の上に、スマートペンで書きこまれた文字や絵。

エコー・デスクトップ

コンピュータ上で動作する、スマートペンを使用して取り込まれたコンテンツを視聴するためのソフトウェア。ノートの表示、録音した音声の再生、アプリの管理などが可能。

オーディオ・ビュー画面

音声ファイルの詳細情報とともに表示される音声一覧画面。

音声

スマートペンのマイクが捉えたあらゆる音声。

ステータス

スマートペンのバッテリー残量、バージョン、日付などの情報へのショートカット。

ダウンロード

インターネットなどの遠隔地からコンテンツを受信すること。

転送

エコー・デスクトップを使用して、スマートペンからコンピュータへ、ノートと音声をコピーすること。

ドッキング

スマートペンを充電クレードル(パルス・スマートペンの場合)またはマイクロUSBケーブル(エコー・スマートペンの場合)に差し込むことで、スマートペンをコンピュータと接続すること。

ファームウェア

スマートペン本体のオペレーションを管理するソフトウェア。

フラッシュストレージ

コンピュータ・ファイルの不揮発性記憶装置で、電源を供給しなくても記憶内容を保持できる。フラッシュメモリーと呼ばれることもある。

ページ・ビュー画面

ノートブックのページを表示するエコー・デスクトップの画面。音声にリンクされたメモは、アクティブ・インクとして表示される。

ペーパーリプレイ

専用ノートへの書き込みと、録音した音声とを結びつけるアプリ。

ペーパーリプレイのパスワード

ペーパーリプレイ・セッションに設定されるパスワード。パスワードを設定することで、スマートペン本体に録音された音声の再生を、第三者から保護することができる。

ペンキャスト

メモと、メモにリンクする音声の組み合わせ。タップするか(スマートペンまたはLivescribe+)、クリックするか(エコー・デスクトップやLivescribe Player)してメモを起動させると、ペンキャストを「再生」する。ペンキャストは、ライブスクリプトPDFとして、他の人と共有することができる。

サムネイル・ビュー画面

ページのサムネイルを表示するエコー・デスクトップのビュー画面。

基本設定

ユーザーの使い方に合わせて設定するエコー・デスクトップの設定項目。

再生遅延

メモをタップして音声を再生するとき、実際にメモを書いた 5 秒前 初期設定 の時点から、音声が再生される。この機能を使うと、特定のポイントを聞いた時点と、メモを書き始める時点との間に生じる自然な遅れに対応するため、より正確に音声を再生することができる。

メモ

スマートペンを使用して専用ノート (Livescribe ドットペーパー) 上に書き込まれたあらゆるもの。

ライブスクライブPDF

他の人と共有可能なペンキャストを組み込んだ PDF ファイル。Acrobat® Reader® では、ノートのみを表示可能。エコー・デスクトップ、ウェブベースのプレイヤー、Livescribe+モバイル・アプリでは、音声再生に同期してメモの色が変化する。

リンク

スマートペンをエコー・デスクトップのインスタンスに関連付けること。